

令和元年度

事業報告書

(自)平成31年4月1日

(至)令和2年3月31日

- ・法人事業報告……………P. 1
- ・はしどい学園事業報告……………P. 5
- ・さわらび学園事業報告……………P.16
- ・自立センター事業報告……………P.39

令和元年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 事業報告

令和2年3月31日

【理事会】

開催日	主な協議事項	出席
令和1年5月28日	各拠点報告事項・社会福祉充実残額について・法人経営分析について・平成30年度各会計決算(案)について・令和元年度各拠点区分等補正予算(案)について・令和元年度釧路のぞみ協会運営指針について・理事及び監事の改選について・その他(評議員会の日程について)	7名
令和1年6月5日	理事の選任について	決議の省略
令和1年6月13日	理事長及び常務理事の選任について	決議の省略
令和1年7月11日	拠点さわらび学園報告事項(移転新築事業について)・令和元年度各拠点区分等補正予算(案)について・さわらび学園移転新築工事に係る実施設計について	8名
令和1年9月26日	各拠点報告事項・令和元年度各拠点区分等補正予算(案)について・評議員の辞任に伴う後任について・評議員選任解任委員について・就業規則の一部改正について・その他(法人監査と理事会の日程調整について)	6名
平成30年12月19日	各拠点報告事項・令和元年度各拠点区分等補正予算(案)について・就業規則の一部改正について・準職員就業規程の一部改正について・パートタイマー就業規則の一部改正について・給与規程の一部改正について・定款変更と評議員会への提案について・その他(法人監査と理事会の日程調整について)	6名
令和2年1月16日	各拠点報告事項・自立センター所長の後任について・さわらび学園移転新築後の事業所名の変更について・その他(法人監査と理事会の日程調整について)	8名
令和2年3月10日	各拠点報告事項・令和元年度各拠点区分等補正予算(案)について・令和2年度各拠点区分事業計画(案)について・令和2年度各拠点区分等資金収支予算(案)について・就業規則の一部改正について・再雇用取扱い内部規程の一部改正について・準職員就業規則の一部改正について・釧路のぞみ協会法人役員の機構改革について・釧路のぞみ協会嘱託職員(法人役員分)就業規程について・理事の定数増員について・評議員の定数増員について・評議員選任解任委員の後任について・パートタイマー就業規則の一部改正について・その他(法人監査と理事会の日程調整について)	7名
令和2年3月26日	令和2年度各拠点区分等資金収支予算(案)の修正について・さわらび学園移転新築に係る施設整備事業計画について・さわらび学園移転新築事業の建築工事契約に係る入札について・さわらび学園移転新築事業の工事監理契約に係る入札について・さわらび学園移転新築推進担当理事の設置について・理事の定数増員について・評議員の定数増員について・その他(今後の日程調整について)	8名

【評議員会】

開催日	主な協議事項	出席
令和1年6月13日	平成30年度各会計決算(案)について・その他	5名
令和2年1月6日	定款変更	決議の省略

【監査】

開催日	内容	主な指摘事項
令和1年5月16日	平成30年度決算	既に除却されている有形固定資産が台帳で未処理のままになっているので固定資産の管理手法を明確にする
令和1年8月20日	令和元年度第1四半期	特になし
令和1年11月11日	令和元年度第2四半期	特になし
令和2年2月13日	令和元年度第3四半期	減価償却資産の实在性に疑問が生じないように適切な処理を行う

【評議員選任・解任委員会】

開催日	主な協議事項
令和1年10月31日	評議員の辞任に伴う後任について

【会議等】

開催日	内容	主な協議事項
令和1年5月21日	令和元年度 第1回 施設長会議	平成30年度決算監査報告・平成30年度消費税の按分について・さわらび学園移転新築に係る北海道への報告内容について・平成30年度決算報告書について・社会福祉充実残額について・平成30年度事業報告書について・平成30年度経営分析について
令和1年5月21日	令和元年度 第1回 運営検討委員会	平成30年度第4四半期(決算)監査報告・第1回理事会議案について・平成30年度釧路のぞみ協会経営分析表について・各拠点報告
令和1年9月2日	令和元年度 第2回 施設長会議	特定処遇改善加算/各拠点配分(案)について・第5回理事会議題について・令和元年度第1四半期監査報告・さわらび学園移転新築/進捗状況報告
令和1年9月3日	令和元年度 第2回 運営検討委員会	令和元年度第1四半期監査報告・理事会議案について・各拠点報告
令和1年11月26日	令和元年度 第3回 施設長会議	第6回理事会議題について・令和元年度第2四半期監査報告・障害者雇用調整金の還付について・処遇改善加算の支払い基準の見直しについて・超過勤務手当の算定対象手当及び控除対象手当について・働き方改革について・自立センター所長の後任について
令和1年12月25日	令和元年度 第4回 施設長会議	超過勤務手当の基礎賃金について・さわらび学園移転新築建築工事について
令和1年12月2日	令和元年度 第3回 運営検討委員会	令和元年度第2四半期監査報告・第6回理事会議案について・処遇改善加算の支給基準の見直しと特定処遇改善加算の支給基準について・働き方改革について
令和2年2月10日	令和元年度 第5回 施設長会議	第8回理事会議題について・令和2年度職員体制について・令和2年度本部会計繰入金按分(案)について・就業規則の一部改正について・再雇用取扱い内部規程の一部改正について
令和2年3月24日	令和元年度 第6回 施設長会議	第9回理事会議題について

【研修等】

開催日・開催地	主催	内容等
令和1年7月5日 帯広市	(株)吉岡経営センター	●特定処遇改善加算と働き方改革への対応法 講師：吉岡マネジメントグループ 近藤日出男 氏
令和1年10月30日 帯広市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●働き方改革について 講師：合同会社NextOne/社労士オフィスONE 代表 沢田 寿晴 氏 ●北海道における公益的な取組みについて 北海道社会福祉協議会 法人支援部 ●社会福祉法人における財務管理について 講師：小田伸一税理士事務所 所長 小田伸一 氏
令和1年11月14日・15日 札幌市	(株)吉岡経営センター	●福祉施設向け 同一労働同一賃金対応のポイント 講師：吉岡マネジメントグループ 三上茂樹 氏
令和2年1月29日・30日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●社会福祉法人 会計実務者決算・財務分析講座 社会福祉法人における財務管理と経営分析について 講師：日本経営ウイール税理士法人 介護福祉事業部 課長 本島 傑 氏

令和元年度 拠点はしどい学園事業報告

1. 事業の目的

指定就労継続支援B型事業所のそれぞれの目的に沿った円滑な運営を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、利用者の立場に立った適切なサービスの提供を確保することを目的とする。

2. 運営の方針

指定就労継続支援B型事業の実施に当たって事業所は、別途利用者との契約に基づき、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成して、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通して、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

3. 事業の概要（生産・就労活動、生活・余暇活動の提供）

（1）指定就労継続支援B型（はしどいライフラボ ぶるうむ）

B型事業所として、生産活動を提供することに加え、社会生活においての見分を広げるための経験・体験の機会をより提供する。

令和元年10月1日より、「指定就労継続支援B型事業所 はしどいライフラボぶるうむ」に名称を変更し、更に定員を3名増員して33名にしている。

〈生産・就労活動〉

- ① 珍味販売
各種珍味の袋詰め、昆布の袋詰め等の請負作業
- ② 包製作業
割り箸の袋詰め、シール貼り等の請負作
- ③ 昼食作り
施設利用者の嗜好に基づいた昼食作り、提供
- ④ 施設外就労
業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業
- ⑤ 廃油石けんの製造・販売
食用の廃油を利用して石けんの製造・販売
- ⑥ プレート彫刻
ネームプレートの彫刻・ピン付け作業

〈生活・余暇活動〉

- ① 手芸品の作成
催事等に則した作品作り
それぞれの興味に合わせた手芸品等の作成
- ② 社会資源の利用、情報の提供（社会参加活動）
生産活動とは別に、見学先・体験先を提供し、希望する利用者に対し支援を実施する。
 - ・余暇支援（リサイクルセンター、北海道新聞釧路工場、NHK 釧路放送局等）
 - ・運動支援（サンアビリティーズくしろ等で運動レク、釧路専門学校等で学生と交流レク等）
 - ・セレクト活動（月1回 4~5ヶ所のメニューを計画しそれぞれの選択で実施）

（2）指定就労継続支援B型（はしどいワークラボ りれいと）

生産活動を中心とした就労支援を展開し、ビジネスマナー等『働く』を意識した支援を提供することにより、工賃の向上を目指し一般就労への機会も提供する。

- ① オフセット印刷の受注・販売

- 名刺、封筒、帳票、年賀状、パンフレット等の各種オフセット印刷
- ② シルクスクリーン
タオル・カレンダー等の受注販売
- ③ 請負作業
各種製函作業、段ボールの中仕切り加工等
- ④ 施設外就労
業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

4. 利用定員と職員配置

(1) 利用定員

はしどいライフラボ ぶるうむ～就労継続支援B型 33名（現員42名）

はしどいワークラボ りれいと～就労継続支援B型 20名（現員27名）

(2) 職員配置

はしどいライフラボ ぶるうむ～ ○管理者1名

○サービス管理責任者1名

○生活支援員1名

○職業指導員8名

○栄養士1名

○目標工賃達成指導員1名

○事務員1名（合計13名）

はしどいワークラボ りれいと～ ○管理者1名（はしどいライフラボ ぶるうむと兼務）

○サービス管理責任者1名

○生活支援員1名

○職業指導員5名

○目標工賃達成指導員1名（合計8名）

5. 今後の重点

- (1) 障害者虐待防止法を遵守する。
- (2) 個別支援計画に基づく支援とケース会議によるサービス内容の検証を行う。
- (3) 外部研修等に参加し、職員の支援スキル、支援意識の向上を図る。
- (4) 平成31年3月に指定就労継続支援B型事業所はしどいワークラボりれいとを移転してからは、効率的かつ具体的に指定就労継続支援B型事業所はしどいライフラボぶるうむとの連携を図る。

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどいライフラボ ぶるうむ

令和2年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員	調理員
常 勤 専 従	1	1	1	1	1	0
常 勤 兼 務	0	0	0	0	1	1
非 常 勤 専 従	0	0	0	0	6	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	1	8	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
33名	42名	41.08	42.1	41.5	81歳	20歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	3	6	12	2	0	0	0	23
女	0	3	2	6	6	1	0	1	19

(2)上記利用者在籍期間

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	2	3	1	4	3	2	3	5	23
女	0	1	1	3	1	3	2	3	5	19

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	24	0	22	0	0	2	0
女	18	0	16	0	0	2	0

※その他の内訳(なし)

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳(なし)

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合計
男	2	23	1	26
女	1	18	0	19
計	3	41	0	45

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	3	0	5	9	6	0	0	23
女	3	0	4	7	4	1	0	19
計	6	0	9	16	10	1	0	42

(6)健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診	令和元年5月17日・31日	40
肺ガン健診(X-P検査)	令和1年11月19日	19
内科検診2回目	令和元年10月1日・15日	40
インフルエンザ予防接種	令和元年11月6日・7日	33
歯牙検診	令和2年1月11日	17

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							計
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
はしどいライフラボぶるうむ	33名	42名	6	0	9	16	10	1	0	42

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	22	21	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504
利用者延人数	858	884	852	901	872	867	891	867	897	836	795	891	10,411
ライフラボぶるうむ利用者延人数	618	657	649	652	689	645	637	648	652	624	607	709	7,787
施設外就労利用者延人数	240	227	203	249	183	222	254	219	245	212	188	182	2,624
主な活動	・包製班(委託請負作業) ・加工班(珍味販売) ・施設外就労(野菜皮むき・ウエス作り・水道メーター解体・他) ・厨房班(昼食の配膳・下膳) ・社会参加活動(余暇支援)												

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	令和元年6月	火災	日中	○	○	○	・2階多目的室のストープから火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。
避難訓練	令和元年8月	地震津波	日中	—	—	○	・大地震により大津波警報が発令された想定で車両を使用し地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	令和元年11月	地震火災	日中	○	○	○	・地震が発生しストープから火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。図面上で建物内の消火器の位置と消火器の使用について確認している。

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成31年4月15日	・各種マニュアルについて ・障がいについて	13名
令和1年5月11日	・利用者緊急対応マニュアルについて ・ヒヤリハット・事故報告書まとめ	13名
令和1年6月22日	・てんかん発作について	13名
令和元年7月26日	・普通救命救急講習	9名
令和元年8月22日	・送迎時における避難経路について	13名
令和1年12月21日	消火器訓練	13名
令和2年1月18日	サービス共通評価基準について	12名
令和2年2月22日	虐待防止チェックリスト	13名
令和2年3月28日	ヒヤリハット振り返り	12名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和1年7月5日	特定処遇改善加算と働き方改革への対処法帯広市 経済センタービル	吉岡経営センター	2名
令和元年7月14日	社会福祉法人 音別憩いの郷 研修会 おんべつ学園 3階 集会室	社会福祉法人 横濱山彦の里 東やましたレジデンス 次長 木村重之氏	2名

令和元年7月31日・8月1日・2日	障害者虐待防止法・権利擁護指導者養成講座札幌市 かでる2. 7	北星学園大学社会福祉学部 教授 田中耕一郎氏 他	1名
令和元年8月17日	強度行動障がいの理解と支援について 釧路プリンスホテル	社会福祉法人 横浜山彦の里 志賀利一氏	10名
令和元年9月21日	基礎から学ぶ自閉症スペクトラムの支援 あいぱーる	横浜市東部地域療育センター診療部 心理士 安倍 陽子氏	3名
令和1年11月9日	おいしく簡単に栄養価アップできる嚥下調整食レシピ プラザさいわい4階	北海道釧路栄養士会 釧路支部 釧根嚥下食・栄養研究会	1名
令和元年12月5日・6日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 札幌市 道庁別館地下1階大会議室	宗谷圏域地域づくり コーディネーター 黒川泰史氏 社会福祉法人麦の子会 ジャンプフレッツ 高田 隆一氏	1名
令和元年12月18日・19日	北海道サービス管理責任者研修 札幌市 かでる2. 7	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 制度グループ職員	1名
令和2年2月8日	釧路短期大学 リカレント講座 新しい食事摂取基準勉強会 釧路短期大学	釧路短期大学 生活学科 教授 山崎 美枝氏	1名
令和2年2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研修会 釧路のぞみ協会 自立センター	OFFICE夢風舎 土屋 徹氏	2名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回家族懇談会 ・セレクト活動	10月	・釧根地区シーツバレー大会 ・道東ミニバレーボール大会
5月	・セレクト活動	11月	・セレクト活動 ・避難訓練
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会 ・道東みどり会 ・避難訓練	12月	・第3回父母懇談会 ・セレクト活動 ・忘年会
7月	・セレクト活動 ・第2回家族懇談会	1月	・セレクト活動
8月	・釧路・根室地区ボウリング大会 ・セレクト活動 ・合同避難訓練	2月	・セレクト活動

9月	・利用者旅行(札幌1泊) ・利用者旅行(帯広1泊) ・利用者旅行(弟子屈日帰り)	3月	・セレクト活動
----	--	----	---------

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどいワークラボ りれいと

令和2年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	1	1	1	1
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	0	0	4
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	1
合 計	1	1	1	1	6

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
20名	27名	34.2	38.6	35.8	58歳	18歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	5	9	3	0	0	0	0	17
女	1	1	3	3	2	0	0	0	10

(2)上記利用者在籍期間

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
	男	2	6	1	2	2	4	0	0	0
女	1	3	0	0	0	4	2	0	0	10

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	15	2	16	0	0	1	0
女	9	1	9	0	0	1	0

※その他の内訳 (なし)

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳 (なし)

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合計
男	1	17	0	18
女	0	10	0	10
計	1	27	0	28

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	1	1	5	10	0	0	0	0
女	1	0	6	1	2	0	0	0
計	2	1	11	11	2	0	0	0

(6)健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診	令和1年5月24日	24
肺ガン健診(X-P検査)	令和2年11月19日	9
内科検診2回目	令和2年10月1日	26
インフルエンザ予防接種	令和2年11月6日	26
歯牙検診	令和2年1月11日	12

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							計
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
ワークホリれいと	20名	27名	2	1	11	11	2	0	0	27

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	22	21	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	313
利用者延人数	565	575	563	579	581	568	579	556	574	555	538	606	6,839
ワークホリれいと利用者延人数	425	442	415	419	455	441	391	393	410	405	382	446	5,024
施設外就労利用者延人数	140	133	148	160	126	127	188	163	164	150	156	160	1,815
主な活動	・オフセット印刷 ・委託請負事業												

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	令和元年6月	火災	日中	○	○	○	・2階多目的室のストーブから火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。
避難訓練	令和元年8月	地震津波	日中	—	—	○	・大地震により大津波警報が発令された想定で車両を使用し地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	令和元年11月	地震火災	日中	○	○	○	・地震が発生しストーブから火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。図面上で建物内の消火器の位置と消火器の使用について確認している。

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成31年4月15日	・各種マニュアルについて ・障がいについて	8名
令和1年5月11日	・利用者緊急対応マニュアルについて ・ヒヤリハット・事故報告書まとめ	7名
令和1年6月22日	・てんかん発作について	7名
令和元年7月26日	・普通救命救急講習	7名
令和元年8月22日	・送迎時における避難経路について	8名
令和1年12月21日	消火器訓練	8名
令和2年1月18日	サービス共通評価基準について	8名
令和2年2月22日	虐待防止チェックリスト	8名
令和2年3月28日	ヒヤリハット振り返り	7名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和1年7月5日	特定処遇改善加算と働き方改革への対処法帯広市 経済センタービル	吉岡経営センター	2名
令和元年7月14日	社会福祉法人 音別憩いの郷 研修会 おんべつ学園 3階 集会室	社会福祉法人 横浜山彦の里 東やましたレジデンス 次長 木村重之氏	1名

令和元年7月19日	救急救命講習	釧路市消防本部 市民防災センター 救急救命士	2名
令和元年7月31日・8月1日・2日	障害者虐待防止法・権利擁護指導者養成 講座札幌市 かでる2.7	北星学園大学社会福祉学部 教授 田中耕一郎氏 他	1名
令和元年8月17日	強度行動障がいの理解と支援について 釧路プリンスホテル	社会福祉法人 横浜山彦の里 志賀利一氏	9名
令和元年8月18日・19日	北海道サービス管理責任者研修 札幌市 かでる2.7	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 制度グループ職員	1名
令和元年9月21日	基礎から学ぶ自閉症スペクトラムの支援 あいぱーる	横浜市東部地域療育センター診療 部 心理士 安倍 陽子氏	2名
令和元年10月9日・10日	道東知的障がい福祉協会 新任職員研 修 釧路プリンスホテル2階	プラス M 代表 長谷川 久美子氏	1名
令和元年11月14日・15日	見つめよう私たちの支援 釧路プリンスホテル	ABC研究所 代表 今本 繁氏	1名
令和元年12月5日・6日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 札幌市 道庁別館地下1階大会議室	宗谷圏域地域づくり コーディネーター 黒川泰史氏 社会福祉法人麦の子会 ジャンプレッツ 高田 隆一氏	1名
令和2年1月26日・27日	北海道サービス管理責任者研修 札幌市 かでる2.7	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 制度グループ職員	1名
令和2年2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研修会 釧路のぞみ協会 自立センター	OFFICE夢風舎 土屋 徹氏	1名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回家族懇談会	10月	・利用者旅行(旭川方面1泊) ・利用者旅行(十勝方面1泊) ・利用者旅行(弟子屈日帰り) ・道東ミニバレーボール大会
5月	内科検診	11月	・避難訓練 ・肺がん検診 ・インフルエンザ予防接種
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会 ・避難訓練	12月	・合同忘年会
7月	職員研修 救命救急講習	1月	
8月	・釧路・根室地区ボウリング大会 ・合同避難訓練	2月	
9月	・レクリエーション(動物園)	3月	

令和元年度 拠点さわらび学園事業報告

1. 事業運営の目的

利用者が、安心かつ安全に生活し諸活動が営めるように、個人の意思や人格・権利を尊重し、自立した社会生活を保障するとともに充実した社会参加活動を促進し、利用者の幸せを追求することを目的とする。

(安全・安心な事業利用の保障、人権の尊重、幸せの追求)

2. 事業運営の方針

① (共に生きる意識)

常に利用者与时や空間を共有する姿勢を絶やさず、共に支え合い、共に生きるという意識を持って支援に当たる。

② (支援の個別化)

利用者個々が持てる能力を十分に発揮し、自主的かつ主体的に生活しながら、諸活動が行えるよう、個別支援計画の充実と支援技術および体制の向上を図る。

③ (家族の安心と希望)

利用者の家族との連携を重視し、家族が安心し希望が持てるように、十分な協議や説明を行い、理解と同意に基づいた支援を行う。

④ (関係諸機関との連携)

法人、各市町村や地域、他の福祉・医療サービス提供事業者、関係諸団体等と綿密な連携を図りながら業務を行う。

⑤ (自己評価)

常に支援内容の評価に努め、リスク検証や苦情解決システムを用い、利用者の立場に立った支援内容・体制等の確立に努めると共に、利用者の権利擁護をしていく。

3. 事業の内容

○障がい者支援施設 さわらび学園

- ・指定施設入所支援施設
- ・日中活動支援事業所～指定生活介護事業
- ・指定短期入所事業

○社会就労センターらびい

- ・指定就労継続支援事業B型

○プロムナード釧路

- ・指定共同生活援助（介護サービス包括型）

4. 年度の重点

- ①ケース会議、個別支援計画会議の充実、個別支援マニュアルの充実。各種研修の実施。

(自閉症スペクトラム・強度行動障害・高齢者について等)

- ②各事業所(課・係)において、円滑な運営を維持できるよう精査すると共に、改善に努める。

(連携の強化、業務の簡略化・簡素化、省力化・節約、利用収入の研究等)

- ③施設・共同生活の生活支援内容・体制の充実。

- ④作業工賃について、設定額の向上に努める。

(社会就労センターらびい就労継続支援事業B型)

- ⑤活動系・訓練系の事業の支援メニュー内容の充実と定着を図る。

- ⑥利用者の権利擁護に努め、継続した研修等を実施する。

他施設・事業所の視察研修、各事例研究、各種研修参加

(企業のマナー、福祉、権利擁護について、虐待防止の研修等)

5. 総括業務の内容

- ①苦情解決の受付・対応

「釧路のぞみ協会福祉サービスに関する苦情解決事業要綱」に従って、利用者やその家族からの苦情があった場合、あるいは苦情と判断される場合は、苦情解決システムに従い、解決に向けて丁寧に迅速に対応する。(苦情解決責任者：施設長 川口 靖)

- ②家庭との連絡・調整

- (1) 家庭訪問・家庭との連携(連絡)

I. 日常的に家庭との連携を行ない、その内容を記録する。

II. 契約や個別支援計画変更のために必要に応じて家庭訪問を実施する。

III. 家庭との連携は個人担当とサビ管予定者で話し合い、実施する。

- (2) 利用者・家族への聴き取り

個人担当者が中心となり、今年度の評価や次年度の希望等を聞き、個別支援計策定に係る資料とする。

- ③リスクマネジメントの実施

リスクマネジメントの実施マニュアルに従って、施設内の機械・設備や利用者支援等についての事故や、事故に繋がりそうな事項について報告書(ヒヤリ・ハット、事故報告)の提出を指示し、それを検証し対策を講ずることで同様の事故や事故につながる恐れを回避する。

- ④個人記録簿の検閲・整備・保管・利用

(1) 全職員が全利用者について日常行動を記録する。

(2) 遅滞なく記録・検閲を受け、速やかに活用ができるようにする。

6. 学園便りの発行と文書発送の計画

- ①学園だよりで家族に学園の様子をお知らせし、色々な情報を提供するために偶数月に発行し帰省・外出・外泊届出書等とともに送付する。

- (1) 行事予定表は各事業所の会議後、それを作成し、発送する。
- (2) 必要に応じて、その都度、お便り(文書)を発行する。

7. インターネット関連の整備

インターネットを通して情報公開や活動内容の紹介を通じて、利用希望者や関係機関からの問い合わせに対応するために、ホームページを管理する。

また、法人のホームページの運営・管理、施設・事業所のパンフレットを作成する。

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 障がい者支援施設 さわらび学園

令和2年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長	嘱託医	管理者	サービス 管理責任者	生活支援員	看護師	栄養士	事務員
常 勤 専 従	1	0	0	0	11	4	1	0
常 勤 兼 務	0	0	1	1	0	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	1	0	0	0	0	0	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	14	0	0	4
合 計	1	1	1	1	25	4	1	4

2.利用者の状況

【施設入所支援事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定 員	現 員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	38名	54.2歳	51.2歳	52.7歳	78歳	31歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	0	3	3	7	4	1	0	18
女	0	0	5	2	7	5	1	0	20

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	0	1	17	0	0	0	0	0	18
女	0	1	2	17	0	0	0	0	0	20

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	0	0	0	0	0	0
女	20	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	2	0	0	0	1	18
女	2	1	0	1	0	0	19

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援医療	合計
男	3	18	0	3	24
女	2	19	1	2	24
計	5	37	1	5	48

②障害支援区分

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0	0	0	0	1	9	8	18
女	0	0	0	0	0	15	5	20
計	0	0	0	0	1	24	13	38

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬		抗精神病薬		抗不安薬		睡眠薬	
		10	人	17	人	15	人	11
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患		腎臓疾患		糖尿病		喘息	
	2	人		人	1	人		人
	高血圧		泌尿器疾患		内科・消化器科		耳鼻・皮膚科	
	4	人	5	人	7	人	18	人

②受診科目の内容

		実人数	延人数	
通院治療	精神科	24	288	
	脳神経外科	4	13	
	内科・小児科	21	123	
	外科・整形外科	6	10	
	耳鼻咽喉科	5	35	
	歯科	2	2	
	皮膚科	3	3	
	眼科	5	14	
	泌尿器科	4	37	
	婦人科	1	1	
	その他	0	0	
	往診	皮膚科	26	233
		歯科	37	567
その他		0	0	
計			1,326	

③健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診(聴打診他)	平成31年4月15日	41
歯科検診	毎月木曜日(15:00~16:00)	37
肺がん検診	令和1年7月4日	29
大腸菌・赤痢菌検査	平成31年8月1日から約1か月間で	40
B型・C型肝炎検査	令和1年9月14日	40
内科健診(採尿・採血・心電図等)	令和1年11月7日	38
胃がん健診	令和1年11月9日	22
インフルエンザ予防接種	令和1年12月5日	40
子宮がん・乳がん検診	令和1年12月5日	7
エキノコックス検査	今年度なし。(次回令和3年予定)	-

(7)利用者状況

	定員	現員	性別	障害支援区分							計
				非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
さわらび学園	40名	38名	男	0	0	0	0	1	9	8	18
			女	0	0	0	0	0	15	5	20

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	41	41	41	41	41	41	41	41	41	40	39	38	486
利用者延人数	1,110	1,150	1,169	1,239	1,126	1,113	1,155	1,109	1,075	1,080	1,038	1,051	13,415

【生活介護事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	38名	54.2歳	51.2歳	52.7歳	78歳	31歳

	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	計(人)
男	0	0	3	3	7	4	1	0	18
女	0	0	5	2	7	5	1	0	20

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1~3年 未満	3~5年 未満	5~10年 未満	10~15年 未満	15~20年 未満	20~25年 未満	25~30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	0	1	17	0	0	0	0	0	18
女	0	1	2	17	0	0	0	0	0	20

(3)利用状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	0	0	0	0	0	0
女	20	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	2	0	0	0	1	18
女	2	1	0	1	0	0	19

※その他の内訳(死亡)

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援医療	合計
男	3	18	0	3	24
女	2	19	1	2	24
計	5	37	1	5	48

②障害支援区分

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0	0	0	0	1	9	8	18
女	0	0	0	0	0	15	5	20
計	0	0	0	0	1	24	13	38

(6)利用者状況

	定員	現員	性別	障害支援区分							
				非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
さわらび学園	40名	38名	男	0	0	0	0	1	9	8	18
			女	0	0	0	0	0	15	5	20

(7)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	41	41	41	41	41	41	41	41	41	40	39	38	486
利用者延人数	861	915	861	925	888	819	867	820	854	866	759	785	10,220
主な活動	・スポーツ活動 ・芸術活動 ・創作活動 ・自立課題活動 ・余暇外出 ・買い物外出 ・旅行 ・その他施設内外活動												

【短期入所】レスポワールさわらび学園

(1)利用者状況

	定員		利用状況											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期入所	男	2名	0	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0
	女	2名	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)区別利用状況

	利用状況(男)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	10	17	3	0	0	0	3	0	0	0	0	33
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	利用状況(女)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)事業実施状況

男性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業延日数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	732
利用者延人数	0	10	17	3	0	0	0	3	0	0	0	0	33

女性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業延日数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	732
利用者延人数	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	参加人数	訓練内容			詳細
					通報	消火	避難	
避難訓練 (日中活動時)	R1.7.31	大地震と大津波	10時～10時16分	39名			○	地震によるその後の大津波警報で釧路たんちよう空港の高台へ避難する。 所要時間15分42秒
避難訓練 (日中活動時)	R1.8.27	大地震からの出火	13時～13時7分	36名			○	大地震発生で厨房から出火で各寮玄関からグラウンドに避難する。 所要時間6分58秒
避難訓練 (日中活動時)	R1.9.30	大地震からの出火	13時～13時12分	39名			○	大地震発生で厨房から出火で各寮玄関からグラウンドに避難する。 所要時間 8分
避難訓練 (夜間想定)	R1.10.30	夜間火災	10時30分～10時36分	41名	○	○	○	消防職員の立会。ポイラー室からの出火を想定。夜勤職員の対応、その他の訓練をする。(マニュアル) 所要時間 5分50秒

4.人権擁護の取組み

(1)虐待防止委員会の開催

開催日	主な協議事項
平成31年4月5日(金)	①利用者からの職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予想される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物、転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避の為、その他職員の応援と連携等の確認
令和元年5月7日(火)	①利用者からの職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予想される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物、転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避の為、その他職員の応援と連携等の再確認
令和元年6月7日(金)	6/5雨天時にGH利用者がTシャツ・ハーフパンツで出勤したことで日中活動事業所の職員とGHの職員に通勤や天候にそぐわない事を指摘され、興奮している。 →職員の対応が難しい場合、社会就労センター職員に応援を依頼する。社会福祉施設元職員が起こした事案(新聞)について検証
令和元年7月3日(水)	6/13「障がい者施設で利用者を暴行させた疑い 逮捕の職員否認/大阪府茨木市」(朝日新聞)を検証する。一時利用の知的障害の男性利用者に夜間、何らかの暴力を振るい死亡させる。男性利用者の胸や腹部に打撲痕を確認し、何かが暴行を加えた可能性があるとして捜査している。 ～検証する。
令和元年8月2日(金)	7/23「抵抗できぬ障害者暴行」札幌障害致死容疑で介護職員逮捕。原因として重度障害で地域生活を送っていた。訪問介護者との重度障害で介護方法や意思疎通がうまくできず、トラブルになっての事件と思われる。 ～障害者とのコミュニケーションの技術や経験が必要となる。
令和元年9月5日(木)	ネットニュース記事「職場での障害者虐待、通報が過去最多 年900人が被害」虐待の状況は雇い主や上司などからの虐待を受けたと届出や通報、本人からの届出や同僚などの第三者による通報など過去最も多数の件数となった。～検証
令和元年10月2日(水)	ニュース記事/大津市の指定放課後等デイサービス施設で今年3月に施設外活動で訪れた市内の公園で12歳の男児の左頬を叩く。職員は児童がパニックになり、顔を叩いた男児を止めようとして手を頬に置いたと話しているが、本人の話と母親が撮った写真から虐待があったと判断され、業務停止の処分となった記事。～検証
令和元年11月1日(金)	ニュース記事/宮城県 障害者施設の利用者に不適切発言「心理的虐待」と自治体認定→周囲の職員から「いじめだ」「聞いていてかわいそうになる」との声で上がり、調査した県が「軽度の心理的な虐待」と認定。職員の夕食介助中の不適切な発言が虐待と判断された。日頃の職員の発言に注意喚を呼びかけが必要。～検証
令和元年12月4日(水)	利用者E氏の金銭的な虐待の件～利用者E氏の実兄が利用者E氏の金銭を使っていたことで「法テラス」に相談し、家族と協議中。実兄の金銭返済と利用者E氏の自己破産の現状報告がある。
令和2年1月8日(水)	2018年度の障がい者虐待に関するニュース報道について検証。厚生労働省に寄せられた障害者虐待に関する相談・通報は8,577件、そのうち虐待と判断されたのは2,745件との発表。過去最高の件数で虐待被害者3,303人の内、死亡が2名。家族による虐待が1,612件、次は福祉施設職員であるとのこと。
令和2年2月5日(水)	(ネットニュース)施設職員の虐待が過去最多(兵庫県)の記事内容から検証。 ～施設職員の人手不足を理由に利用者に対し不適切な行為や虐待をしてわいけい。困った時は直ぐに相談、職員単独で行動しないことを申し合わせる。
令和2年3月6日(金)	NHKハートネット:さいたま市障害者支援施設『どうかん』の「障害者虐待とは何か?」研修事例の検証 →障がい者自身に虐待を理解してもらうことを主眼に、利用者に「虐待」を分かってもらうように職員が利用者の立場で考えた研修を参考にしている。

5.人材の育成

(1)施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成31年4月12日(金)	①各委員会(事故・虐待・身体拘束・感染予防)の報告 ②緊急時対応マニュアル確認 ③服薬マニュアル・服薬者一覧、アレルギー・既往歴の確認他	18名
令和元年6月14日(金)	①各委員会(事故・虐待・身体拘束・感染予防)の報告 ②権利擁護について	22名
令和元年7月14日(金)	①各委員会(事故・虐待・身体拘束・感染予防)の報告 「障がい者施設従事者等による虐待」の事例検証 ②緊急時避難警戒レベルと避難行動について	20名
令和元年8月7日(水)	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②強度行動障がい研修について	13名
令和元年9月13日(金)	①各委員会報告(身体拘束の3原則・手足口病の感染症について) ②さわらび学園事故状況の検証(7月～9月上旬までの統計をもとに)	20名
令和元年10月12日(土)	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②9月後半の事故・ヒヤリハット報告の検証	14名
令和元年11月7日(金)	①各委員会(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	22名
令和元年12月9日(月)	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	17名
令和2年1月11日(土)	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	15名
令和2年2月11日(火)	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②救急搬送時の対応について	20名
令和2年3月10日(火)	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②新型コロナウイルス対策の継続について	20名

(2)施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成31年6月16日 ～19日	2019年度相談支援従事者研修 ／(現任研修) 札幌市	特定非営利活動法人北海道CMネット	1名
令和元年6月25日 ～27日	(指定)北海道強度行動障害支援者養成研修 ／(基礎研修) 札幌市	実施主体:おんべつ学園 (社福)はるにれの里	2名
令和1年7月14日	(社福)音別憩いの郷研修会(釧路市音別町)研修テーマ 『自閉症の方の障害特性の理解と関わり』	実施主体:(社福)音別憩いの郷研修会(社福)横浜やまびこの里 東やまたレジデンス 次長 木村重行	14名
令和元年7月20日 ～24日	全国的障害関係施設長等会議 横浜市	地域生活実現を目指す経営の在り方の研修	2名
令和元年7月27日 ～28日	(指定)北海道強度行動障害支援者養成研修 ／(基礎研修) 芽室町中央公民館	実施主体:(社福)帯広福祉協会	3名
令和1年8月1日	令和元年度権利擁護セミナー 札幌市	実施主体:一般社団法人 北海道知的障がい福祉協会	1名
令和元年8月5日 ～7日	2019年度相談支援従事者研修 ／初任者研修・中期過程) 帯広市	特定非営利活動法人北海道CMネット	1名
令和元年8月17日 ～18日	(社福)釧路のぞみ協会さわらび学園 研修テーマ『強度行動障がい支援者研修会』 釧路プリンスホテル	実施主体:さわらび学園 (社福)横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長 志賀 利一氏	(職員) 16名 (家族) 5名 (関係者) 100名
令和元年8月18日 ～19日	2019年度サービス管理責任者更新研修	特定非営利活動法人 きなはれ	1名
令和元年9月28日 ～29日	介護福祉士実習指導者講習会(前期) 帯広市	学校法人 帯広コア学園 帯広コア専門学校	1名
令和元年10月9日 ～10日	「令和元年度 道東知協 新就職員研修会」 講演「福祉職として必要な社会的マナーと心の健康」／講演「アンガーマネジメント」 釧路市	実施主体:道東知的障がい福祉協会 講師 プラスエム 長谷川久美子氏	4名
令和元年10月10日 ～11日	2019年度相談支援従事者研修 ／初任者研修・後期課程 帯広市	特定非営利活動法人 北海道CMネット	1名
令和元年10月12日 ～13日	介護福祉士実習指導者講習会 帯広市	学校法人 帯広コア学園 帯広コア専門学校	1名
令和1年10月30日	令和元年度社会福祉法人 社会福祉施設ブロック研修会 帯広市	実施主体:北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営協議会 働き方改革について	1名
令和元年11月14日 ～15日	道東知的障害福祉協会職員研修会 「支援現場で応用行動分析」他	実施主体:鶴が丘学園 ABC研究所代表今村 繁氏	1名
令和元年12月10日 ～11日	日中活動支援部会全国大会 札幌市	実施主体:日本知的障害者福祉協会 北海道知的障がい福祉協会	2名
令和元年12月12日 ～13日	2019年北海道サービス管理責任者更新研修 北見市	実施主体:一般社団法人北海道セーフティネット協議会	3名

6.組織づくり

(1)職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
主任・管理職会議	12	さわらび学園・社会就労センターらびい・プロムナード釧路を含めた利用者と職員動向、職員周知事項及び確認事項、次月の行事予定のすり合わせ、さわらび学園新築移転関連等
職員会議	15 (含臨時会議)	利用者健康会議、給食会議、次月行事予定表案、職員周知事項(職員動向・他事業所・法人の状況他) 平成31・令和元年度末反省会議及び新年度経営案会議、新型コロナウイルス対策について
ケース会議	随時	月別利用者モニタリング・個別支援計画検討 利用者個別対応について他
男女棟会議	2	(男性棟) 第1回 5月31日 第2回11月20日 利用者個別支援とその対応について他

(2)各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
事故防止	12	インシデント(事故・ヒヤリハット)報告の検証と今後の対応について～車輛・交通事故や利用者の食事にの喉つまり事故など。その他、利用者からの暴力行為等の検証と今後の職員の対応について
身体拘束廃止	12	利用者の興奮やパニック時の職員の対応について検証と確認について
感染予防対策	12	感染予防の対策の周知と実際の対応について (特に、インフルエンザとノロウイルス / 新型コロナウイルスの予防対策等)

7.主要行事

4月		10月	10月17日～18日 利用者中標津方面一泊旅行 10月25日 令和元年度第1回家族懇談会
5月	5月31日:健康祈願祭・グラウンド開き	11月	
6月	6月20日:利用者日帰り旅行 ①グループ 6月27日:利用者日帰り旅行 ②グループ	12月	12月27日 さわらび学園忘年会(釧路プリンスホテル)
7月	7月18日～19日 利用者鶴居方面一泊旅行①グループ 7月25日～26日 利用者鶴居方面一泊旅行②グループ	1月	
8月	8月29日～30日 利用者川湯方面一泊旅行	2月	
9月	9月26日～27日 利用者中標津方面一泊旅行	3月	

令和2年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長	管理者	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	0	0	1	1	2
常 勤 兼 務	0	1	1	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	0	0	7	7
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	1	8	9

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
20名	34名	45.6歳	40.8歳	44.1歳	62.0歳	24.0歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	4	2	6	7	3	0	0	22
女	0	2	5	2	1	2	0	0	12

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	0	1	21	0	0	0	0	0	22
女	1	0	0	11	0	0	0	0	0	12

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	23	0	0	0	0	0	0
女	11	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続利用
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	1	0	0	0	0	22
女	0	0	0	0	0	0	12

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合計
男	2	21	1	24
女	1	10	2	13
計	3	31	3	37

※自立支援医療受給者証保持者 6人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	2	0	1	2	10	7	0	22
女	0	0	0	2	7	3	0	12
計	2	0	1	4	17	10	0	34

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診(聴診)	平成31年4月18日	33
肺ガン検診(X-P検査)	令和2年7月3日	16
血液検査	令和2年9月6日	32
心電図検査	令和2年9月6日	12
胃がん検診	令和2年11月6日	17
インフルエンザ予防接種	令和2年11月5日	34
子宮がん・乳がん検診	令和2年12月4日	5

[利用者状況]

	定員	現員	区分							計
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
社会就労センター らびい	20名	34名	2	0	1	4	17	10	0	34

[事業実施状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	33	33	32	33	33	34	34	34	34	34	34	34	402
利用者延人数	699	729	686	729	719	700	758	729	761	756	691	757	8,714
施設外就労利用者延人数	381	406	405	426	410	392	420	427	469	449	401	457	5,043
らびい本体利用者延人数	318	323	281	303	309	308	338	302	292	307	290	300	3,671
主な活動	・清掃班(市内福祉施設事業所清掃など) ・ポスティング班(チラシ折り・投函)												
	・厨房班(昼食の配膳・下膳)												

【防災】

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	6月	地震	日中	想定		○	釧路沖地震～震度6を想定し、屋外への安全な場所まで避難する訓練
避難訓練	11月	地震津波	日中	想定		○	地震発生に伴う津波の避難誘導警報が出された想定で地域の避難場所まで避難する訓練
消火訓練	2月	火災	日中	想定	想定	○	釧路市防災センターにて総合訓練と体験

②安全確保のための点検・会議

項目	実施日	実施内容
消防設備点検	令和1年7月19日	避難器具・誘導灯及び誘導標識・非常警報器具及び設備等の点検
業務用冷蔵庫点検	令和1年9月13日	冷蔵庫内設備、使用部品点検

【人権擁護の取組み】

<虐待防止委員会の開催>

開催日	主な協議事項
平成31年4月5日	①利用者からの職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予想される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物、転倒防止について ③利用者間のトラブルについて～原因の究明と暴力行為の回避の為、その他職員の応援と連携等の確認
令和1年5月7日	①利用者からの職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予想される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物、転倒防止について ③利用者間のトラブルについて～原因の究明と暴力行為の回避の為、その他職員の応援と連携等の再確認
令和1年6月7日	①・③は確認。②6/5雨天時にGH利用者がTシャツ・ハーフパンツで出勤したことで日中活動事業所の職員とGHの職員に通勤や天候にそぐわない事を指摘され、興奮している。→職員の対応が難しい場合、社会就労センター職員に応援を依頼する。社会福祉施設元職員が起こした事案(新聞)について検証
令和1年7月3日	6/13「障がい者施設で利用者を暴行させた疑い 逮捕の職員否認/大阪府茨木市」(朝日新聞)を検証する。一時利用の知的障害の男性利用者に夜間、何らかの暴力を振るい死亡させる。男性利用者の胸や腹部に打撲痕を確認し、何者かが暴行を加えた可能性があるとして捜査している。～検証する。
令和1年8月2日	7/23「抵抗できぬ障害者暴行」札幌障害致死容疑で介護職員逮捕。原因として重度障害で地域生活を送っていた。訪問介護者との重度障害で介護方法や意思疎通がうまくできず、トラブルになっての事件と思われる。～障害者とのコミュニケーションの技術や経験が必要となる。
令和1年9月5日	ネットニュース記事「職場での障害者虐待、通報が過去最多 年900人が被害」虐待の状況は雇い主や上司などからの虐待を受けたと届出や通報、本人からの届出や同僚などの第三者による通報など過去最も多数の件数となった。～検証
令和1年10月2日	ニュース記事/大津市の指定放課後等デイサービス施設で今年3月に施設外活動で訪れた市内の公園で12歳の男児の左頬を叩く。職員は児童がパニックになり、顔を叩いた男児を止めようとして手を頬に置いたと話しているが、本人の話と母親が撮った写真から虐待があったと判断され、業務停止の処分となった記事。～検証
令和1年11月1日	ニュース記事/宮城県 障害者施設の利用者に不適切発言「心理的虐待」と自治体認定→周囲の職員から「いじめだ」「聞いていてかわいそうになる」との声で上がり、調査した県が「軽度の心理的虐待」と認定。職員の夕食介助中の不適切な発言が虐待と判断された。日頃の職員の発言に注意喚起を呼びかけが必要。～検証
令和1年12月4日	利用者E氏の金銭的な虐待の件～利用者E氏の実兄が利用者E氏の金銭を使っていたことで「法テラス」に相談し、家族と協議中。実兄の金銭返済と利用者E氏の自己破産の現状報告がある。
令和2年1月8日	2018年度の障がい者虐待に関するニュース報道について検証。厚生労働省に寄せられた障害者虐待に関する相談・通報は8,577件、そのうち虐待と判断されたのは2,745件との発表。過去最高の件数で虐待被害者3,303人の内、死亡が2名。家族による虐待が1,612件、次は福祉施設職員であるとのこと。

令和2年2月5日	(ネットニュース)施設職員の虐待が過去最多(兵庫県)の記事内容から検証。～施設職員の人手不足を理由に利用者に対し不適切な行為や虐待をしてわいけい。困った時は直ぐに相談、職員単独で行動しないことを申し合わせる。
令和2年3月6日	NHKハートネット:さいたま市障がい者支援施設『どうかん』の「障害者虐待とは何か?」研修事例の検証→障がい者自身に虐待を理解してもらうことを主眼に、利用者「虐待」を分かってもらうように職員が利用者の立場で考えた研修を参考にしていく。

【人材の育成】

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成31年4月24日	知的障がい・発達障害について	12名
令和1年5月22日	就労継続支援B型について	10名
令和1年6月19日	虐待防止について	8名
令和1年7月24日	強度行動障がいについて	7名
令和1年8月21日	サービス共通評価基準の実施①	9名
令和1年9月25日	サービス共通評価基準の実施②	6名
令和1年10月24日	サービス共通評価基準の実施③	9名
令和1年11月20日	高次脳機能障がいについて	10名
令和1年12月18日	自閉症スペクトラムについて	10名
令和2年1月15日	事例検討	11名
令和2年3月18日	普通救急救命について	10名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和1年7月14日	(社福)音別憩いの郷研修会 研修テーマ『自閉症の方の障害特性の理解と関わり方』	実施主体:(社福)音別憩いの郷研修会 (社福)横浜やまびこの里 東やまたレジデンス 次長 木村重行氏	2名
令和1年8月17日 ～8月18日	(社福)釧路のぞみ協会さわらび学園 研修テーマ『強度行動障がい支援者研修会』 釧路プリンスホテル	実施主体:(社福)釧路のぞみ協会さわらび学園 (社福)横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長 志賀 利一氏	10名
令和1年11月14日 ～11月15日	道東知的障害福祉協会職員研修会 「支援現場で応用行動分析」他	実施主体:(社福)釧路愛育協会 障がい者支援施設 鶴が丘学園 ABC研究所代表今村 繁氏	1名

【組織づくり】

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	随時	月別利用者モニタリング・個別支援計画検討 / 利用者個別対応について他
職員会議	12	行事予定表案、職員周知事項(職員動向・他事業所・法人の状況他)、各作業班からの状況報告、各作業班収支状況確認、給食会議、らびい移転について、平成31・令和元年度末反省会議及び新年度経営案会議、新型コロナウイルス対策について
主任・管理職会議	12	さわらび学園・社会就労センターらびい・プロムナード釧路を含めた利用者と職員動向、職員周知事項及び確認事項、次月の行事予定のすり合わせ、さわらび学園新築移転関連等
管理職会議	随時	各事業所の運営について、事業所間の調整、移転について

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	12	感染予防の対策の周知と実際の対応について (特に、インフルエンザとノロウイルス / 新型コロナウイルスの予防対策等)
身体拘束廃止委員会	12	利用者の興奮やパニック時の職員の対応について検証と確認について
事故防止対策委員会	12	インシデント(事故・ヒヤリハット)報告の検証と今後の対応について～車輛・交通事故や利用者の食事上の喉つまり事故など。その他、利用者からの暴力行為等の検証と今後の職員の対応について

【主要行事】

4月		10月	日帰りレクリエーション②
5月		11月	
6月		12月	
7月		1月	
8月	焼肉レクリエーション	2月	新年会
9月	日帰りレクリエーション①	3月	ご苦労さん会

令和2年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	管理者(施設長)	サービス管理責任者	世話人	生活支援員
常 勤 専 従	1	1	0	2
常 勤 兼 務	0	0	11	11
非 常 勤 専 従	0	1	0	2
非 常 勤 兼 務	0	0	1	1
合 計	1	2	12	16

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
39名	38名	47.9歳	42.8歳	45.4歳	66歳	25歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	2	4	5	10	2	0	0	23
女	0	0	8	3	2	2	0	0	15

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	3	0	0	5	15	0	0	0	0	23
女	0	1	1	6	7	0	0	0	0	15

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	3	3	0	0	0	0
女	15	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	2	0	0	0	0	23
女	0	0	0	0	0	0	15

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合計
男	3	22	3	28
女	3	14	1	18
計	6	36	4	46

※自立支援医療受給者証保持者 9人

②障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
男	1	1	2	11	7	0	1	23
女	0	1	4	6	4	0	0	15
計	1	2	6	17	11	0	1	38

※区分申請中1名

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	3 人	9 人	6 人	5 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	B型肝炎	糖尿病
	1 人	1 人	2 人	1 人
	高血圧	高脂血症	鉄欠乏性貧血	子宮内膜症
	7 人	3 人	3 人	1 人
	アレルギー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	椎間板ヘルニア	頻尿
	2 人	3 人	1 人	4 人
	胃潰瘍	腰痛症等	緑内障	白内障
	2 人	4 人	1 人	3 人
	脂漏性湿疹	円錐角膜症	内痔核等	水虫
	8 人	1 人	1 人	13 人
	乾燥肌	セルフカテーテル	その他	
5 人	1 人	20 人	人	

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診(聴診)	平成31年4月18日	29
肺ガン検診(X-P検査)	令和1年7月3日	13
血液検査・心電図検査	令和1年9月13日	37
胃がん検診	令和1年11月6日	15
インフルエンザ予防接種	令和1年11月7日	37
子宮がん・乳がん検診	令和1年12月4日	4

③受診科目の内容

		実人数	延人数
通院治療	精神科	9	96
	脳神経外科	4	22
	内科・小児科	16	79
	外科・整形外科	7	43
	耳鼻咽喉科	5	48
	歯科	24	132
	皮膚科	19	84
	眼科	6	18
	婦人課	1	5
	肛門科	3	12
	心臓血管内科	1	5
	泌尿器科	6	30
	その他	3	13
	往診	皮膚科	0
歯科		0	0
その他		0	0
計			587

[利用者状況]

ホーム名	定員	現員	区分							計
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	
プロムナード昭和北	6	6	0	0	1	1	4	0	0	6
プロムナードセレストⅠ	3	3	0	0	0	2	0	0	1	3
プロムナードセレストⅡ	4	4	1	1	1	1	0	0	0	4
プロムナードルアナ	5	5	0	0	0	4	1	0	0	5
プロムナードリノ	5	5	0	0	0	3	2	0	0	5
プロムナードらき	5	5	0	0	0	3	2	0	0	5
プロムナードれおんⅠ	3	3	0	0	1	2	0	0	0	3
プロムナードれおんⅡ	3	2	0	1	0	0	1	0	0	2
プロムナードカプア	5	5	0	0	3	1	1	0	0	5
合計	39	38	1	2	6	17	11	0	1	38

[事業実施状況]

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
利用延人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	1,033	1,048	993	1,025	1,021	1,025	1,084	1,077	1,061	1,069	1,046	1,151	12,633
主な活動	・通院支援 ・入浴支援 ・金銭管理 ・買い物外出(個別対応) ・余暇支援 ・クラブ活動(ミニバレーボール/水中ウォーキング/お花サークル) ・クラブ活動(絵画サークル/フィットネスクラブ)												

【防災】

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	1年12月	地震 津波 風水害	日中	想定	—	○	①地震発生に伴い、津波勧告が発令されたことを想定し地域の避難場所まで避難する訓練を実施。 ②風水害の際の注意事項を確認。

②安全確保のための点検・会議

項目	実施日	実施内容
消防用設備等点検	令和1年6月	消火器具、スプリンクラー設備、特定小規模施設用自火報設備等点検

【人権擁護の取組み】

<虐待防止委員会の開催>

開催日	主な協議事項
平成31年4月17日	「利用者間での指示・命令／利用者の服装・靴」について
令和1年5月15日	「利用者の財産を守る」ために
令和1年6月14日	「実例の検証」（東京都・28歳男性職員が82歳の入所者に暴行を加え死亡）
令和1年7月3日	①利用者から職員への暴力等があったとき、予想されるとき ②利用者同士の指示、利用者が職員の行うことを真似て行うことでトラブルになる ③虐待事例
令和1年8月2日	「実例の検証」（札幌市・訪問介護サービス事業所での介護士による傷害致死容疑）
令和1年9月5日	「実例の検証」（札幌市・障がい者施設で職員による暴力行為により利用者が負傷）
令和1年10月2日	「実例の検証」（大津市・指定放課後デイサービス施設での虐待事件について）
令和1年11月1日	「実例の検証」（宮城県・障がい者支援施設で利用者に対する不適切な発言、心理的虐待の認定）
令和1年12月4日	「利用者・家族との金銭トラブル」職員としてどう対応し支援を提供するのか
令和2年1月8日	「厚生労働省による全国の虐待件数の発表」 相談・通報件数8,577件、虐待と判断された件数2,745件。被害者数3,303人うち死亡者2名 家族に対する虐待1,612件の発表を踏まえての検証
令和2年2月5日	①虐待事案が過去最多（兵庫県）その原因と考察 「深刻な人手不足の影響で多くの職員が疲弊している状況が垣間見える」として注意喚起
令和2年3月6日	障害のある人たちが「虐待とは何か」を学ぶ研修 「他施設の取り組みについて」・「権利とは」・「虐待とは」

【人材の育成】

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成31年4月22日	「権利擁護について」／倫理綱領・身体拘束の廃止と質の向上に向けて	8名
令和元年5月27日	「相談援助の原則・視点・考え方・方法」について	11名
令和元年6月24日	「記録とは」 記録の目的、問題点、記録の書き方、事例2点	11名
令和1年7月22日	「自閉症スペクトラム障害について」	8名
令和1年8月23日	「アンガーマネジメントについて①」	10名
令和1年9月24日	「アンガーマネジメントについて②」	9名
令和1年11月15日	「価値観」について	11名
令和2年2月14日	「サービス共通評価基準について①」	13名
令和2年3月13日	「サービス共通評価基準について①」	13名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年5月25日	「精神疾患と生活障がい」 ～精神科医が考える多職種連携とは～ 【アクアベール 3階 末広の間】	畠山 茂樹氏 釧路赤十字病院 精神科部長	4名
令和1年7月14日	「自閉症の方の特性理解と関わり」 ～チーム支援と問題行動へのアプローチ～	木村 重之氏 やまびこの里 ひがしやまレジデンス次長	5名
令和元年8月17日 ～18日	「強度行動障がいの理解と支援について」	志賀 利一氏 社会福祉法人 横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長	13名
令和1年12月13日	「北海道サービス管理責任者更新研修」	一般社団法人 北海道セーフティネット協議会	1名

【組織づくり】

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援計画会議 (ケース会議)	毎月1回	個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	次月行事予定、余暇計画、健康状況の把握、給食について、ホームミーティングの検証、施設長説明、その他
主任・管理職会議	毎月回	職員動向、利用者動向、日程、今後の行事について
管理職会議	随時	各事業所の運営について
研修会議	毎月1回	年間計画に沿って支援スキル向上のための研修

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	身体拘束に繋がるケース検証の事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	防犯対策、防災対策、交通安全、その他

【主要行事】

4月		10月	
5月		11月	
6月	バーベキュー親睦会(別保公園)	12月	クリスマス親睦会
7月		1月	
8月		2月	
9月	プロムナード利用者旅行(網走方面)	3月	

令和元年度 拠点自立センター事業報告

I. 目的

地域に在住する障害を持つ人達に必要なに応じて必要な相談や援助を行い、社会自立の為の支援・指導を行う。

- ・地域に育ち 地域に暮らす

II. 運営方針

総務課及び支援課を設置し自立センターの適正な運営を図る。

部門は、共同生活援助 自立センターグループホームプルミエ、指定相談支援事業 自立センター、就労継続支援事業B型 くしろジョブコミュニケーションセンターれぼぜ・ぷあぷ、自立訓練事業 くしろジョブリカバリーセンターぶろぐれ、就労移行支援事業 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ、あらんじえⅡ、定着支援事業 くしろジョブサポートセンターぱさーじゅ、ジョブコーチ支援事業、くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センター ぷれん、の8領域を併せ持ち、各領域はそれぞれの目的に沿った支援活動を行いながら、部門として互いに協調して一層の成果を期すると共に、必要に応じて各係との連携も図る。

III. 宣誓

私たち自立センター職員は、関係法令を遵守するとともに社会福祉法人釧路のぞみ協会の倫理規定に従い福祉サービス従事者及び国・市町村事業の委託業者として節度ある職業人の立場と責務を遵守します。

IV. 重点目標

- (1) 施設運営に係る適正かつ公正な事務及び会計処理を遅延なく実施する
- (2) 新規利用者の確保
- (3) 新事業所の有効活用
- (4) あらんじえ利用者のあらんじえⅡへの円滑な移行
- (5) 工賃向上に向けた委託事業の確保
- (6) 就労移行支援事業所における職場開拓
- (7) 就労移行と協働した定着支援事業の展開
- (8) 企業と連携しながら進める職場適応支援
- (9) 共同生活援助事業の利用者の高齢化への対応
- (10) 計画に基づいた効率的な相談支援の展開
- (11) 職場定着率向上のための職場訪問の強化
- (12) 多様化する障がい特性に適応した支援の充実
- (13) 経験年数に応じた研修の提供による人材育成

V. 事業内容

- (1) 総務課
 - ① 会計・経理に関すること

② 庶務業務に関すること

(2) 支援課

<地域生活支援係>

(ア) 介護サービス包括型共同生活援助事業 「自立センター グループホーム プルミエ」
グループホームの運営

- ① 日常生活全般に対する援助活動
- ② 就労に対する援助活動
- ③ 関係諸機関・地域との連携
- ④ 余暇支援

(イ) 指定相談支援事業 「自立センター」

- ① 利用者個々に応じた日常生活全般の相談・援助活動
- ② サービス等利用計画の作成に関する活動
- ③ 地域の福祉サービス事業所情報を適正に利用者等に提供する。
- ④ 地域の各関係諸団体との連携を密にすると共に情報・啓蒙活動に努め対象者の拡大を図る
- ⑤ 障害支援区分認定調査の実施

<就業・生活支援係>

(ウ) 就業・生活支援センター「くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぶれん」

- ① 就労に関わる様々な相談・支援活動
- ② 生活面の相談・支援活動
- ③ 地域就労ネットワークの構築
- ④ 企業雇い入れ計画・雇用・定着サポート
- ⑤ 就労支援研修会の実施

<職場適応支援係>

(エ) ジョブコーチ支援事業

- ① 職場での就労または職場適応に課題を有する障害者へ障害特性を踏まえた直接的、専門的な援助を行う。
- ② 障害者雇用に不安を抱く企業に対して障害者への指導に関することや雇用管理への助言等を行い雇用の促進と安定を援助する

<就労継続支援係>

(オ) 就労継続支援B型ア事業 くしろジョブコミュニケーションセンター れぽぜ

- ① 作業支援を通じた職業支援
- ② 社会生活支援を通じた対人技能訓練
- ③ 社会自立を目指した生活支援
- ④ 余暇活動
- ⑤ 工賃向上に向けた作業活動

(カ) 自立訓練事業 くしろジョブリカバリーセンター ぶろぐれ

- ① 社会復帰したいという希望のある高次脳機能障害の方に受障・病状に応じた支援・トレーニングを行う
- ② 自立生活に課題を有する障がい者の方に対して障害種別を問わず目的に応じた支援、自立機能を高めるトレーニングを行う

③ 職場復帰に向けた職場環境の調整

<就労移行・定着支援係>

(キ) 就労移行支援事業 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

- ① 作業支援を通じた職業訓練
- ② 職業準備支援を通じた職業訓練
- ③ 社会生活技能支援を通じた対人技能訓練
- ④ 就労を踏まえた生活支援
- ⑤ 一般企業への就業の機会の提供
- ⑥ 就職した利用者への就職後半年間の職場適応支援の提供

(ク) 就労定着支援事業 くしろジョブサポートセンター ぱさーじゅ

- ① 就労移行支援を利用し半年継続した方への定着支援の提供
- ② 月に一度職場訪問の実施
- ③ 不適応への対応
- ④ 定着のための生活支援
- ⑤ 担当者会議の実施
- ⑥ 職務再構築の提案

(3) その他

① 会議

- ・毎週水曜日職員会議を設け、情報の共有及び事業運営に関して意見交換を行う
- ・各部門会議を月に1回定期的に開催し支援の充実を図る。
- ・衛生委員会会議の開催
- ・虐待防止委員会の開催
- ・年度振り返り会議を12月末より開始する
- ・正職員会議及び主任以上会議を開催し運営の充実を図る。
- ・利用者の就労支援プロセス毎に個別支援計画会議を開催する。
- ・利用者の包括的な支援を目指し関係諸団体と利用者ケース会議を実施する。
- ・各自立支援協議会等への参加

② 研修

- ・支援の知識・技能を高めるための各種研修会への参加及び毎週水曜日に職員研修を行う。
- ・研修会の参加についてはレポートを提出しHPに掲載する。
- ・成果については、所内事例発表等を実施し職員研鑽の場を設ける。
- ・支援に有効と判断する外部研修に参加しその結果をレポートにて整理を行い研鑽の場を設ける。

③ 協調

- ・職員はお互いの人格を尊重し社会人として責任ある立ち居振る舞いをするを義務付ける。これに反するまたは、理解を示さない者は、自立センターで対人業務を行う資質に欠けていると判断する。

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

令和2年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	職業 指導員	生活 支援員	就労 支援員
常勤	1	1	1	0	1
非常勤			7	3	4
合計	1	1	8	3	5

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員
20名	26名

(2)退所の状況(人)

本年度中の 退所者数	移行先		
	一般就労	就労継続A型	その他
20	14	0	6

(3)障害の状況

①障害種別

種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他
人数	5	19	19	1
計	5	19	19	1

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
		22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	598	670	683	760	751	677	424	361	352	361	321	396	6,354
主な活動	職業準備訓練 職業適性検査・製品製造・接客・グループワーク・職場実習												

4.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。
避難訓練	7～8月	地震 火災	日中		○	○	防災センターで実施 初期消火体験・地震体験

5.主要行事

4月		10月	運動レク(バティック)
5月	MOO周辺散策(バティック) ボーリング(ビストロ)	11月	工場見学(バティック) 調理レク(ビストロ)
6月	運動レク(バティック)	12月	調理レク(バティック)
7月	快活クラブレク(バティック)	1月	ウエスタン外食レク(バティック) 快活クラブレク(ビストロ)
8月	運動レク・旅客船見学(バティック)	2月	
9月	調理レク(バティック) 遊学館見学(ビストロ)	3月	室内レク(バティック) 調理レク(ビストロ)

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	12/2・12/4・12/5	26

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成31年4月17日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
令和1年10月16日	復命研修 虐待・権利擁護研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 9月4～6日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	全職員
令和元年 12月27日	職リハアセスメントと ソフトスキルトレーニング実践研修会	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
令和2年 2月8日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 12月28日	アセスメントを支援に 活かすためのセミナー	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	73名
令和2年 2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研修 会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	3日	会議 就業規則についてについて
	10日	会議 虐待防止、個人情報保護について
	17日	ケース会議 個別支援計画5月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	24日	ケース会議 ケース検討会議(ピストロ)
5月	8日	研修 障害特性について(知的障害)
	15日	研修 各作業班からSSTの振り返り発表
	22日	ケース会議 個別支援計画6月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	29日	ケース会議 ケース検討会議(べじぶる)
6月	5日	研修 復命研修「精神疾患と生活障がい～精神科医が考える多職種連携とは～」
	12日	ケース会議 ケース検討会議(れぼぜ)
	19日	ケース会議 個別支援計画7月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議 TTAP実施報告(作業班利用者に実施したもの)
7月	3日	研修 障害特性について(発達障害)
	10日	会議 防災・災害マニュアル、緊急LINEの確認・避難訓練の振り返り
	17日	研修 各作業班からSSTの振り返り発表
	24日	ケース会議 個別支援計画8月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	31日	ケース会議 ケース検討会議(ぷあぷ)
8月	7日	研修 ケース検討会議(ぷろぐれ)
	21日	研修 個別支援計画9月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	28日	ケース会議 SSSの概要を学ぶ(ACTエクササイズ・活動記録・Qスケール・ヘルスログ)

9月	11日	ケース会議	ケース検討会議(ジョブコーチ)
	18日	ケース会議	個別支援計画10月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	障害特性について(精神障害)
10月	2日	研修	高次脳機能障害の訓練と支援
	9日	会議	施設外実習の帳簿類について
	16日	研修	復命研修「虐待防止研修」
	23日	ケース会議	個別支援計画11月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	30日	ケース会議	ケース検討会議(ぱさーじゅ)
11月	6日	研修	職業リハビリテーション研究・実践発表会のポスター発表(発達・精神障害者の就労定着支援)について
	13日	ケース会議	ケース検討会議(相談)
	20日	研修	個別支援計画12月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	27日	ケース会議	SST各作業班の進捗状況・課題について
12月	18日	ケース会議	個別支援計画1月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	年度末振り返り発表
1月	15日	会議	各作業班の振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	29日	会議	各課・係の振り返り発表
2月	5日	会議	新年度各課・係の計画発表
	12日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案作成
	19日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案発表
3月	4日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	11日	会議	個別支援計画4月開始の方・利用半年を切った方のケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえⅡ

令和2年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	職業 指導員	生活 支援員	就労 支援員
常勤	1	1	1	0	1
非常勤			6	3	2
合計	1	1	7	3	3

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員
20名	28名

(2)退所の状況(人)

本年度中の 退所者数	移行先		
	一般就労	就労継続A型	その他
9	5	0	4

(3)障害の状況

①障害種別

種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他
人数	0	17	12	2
計	0	17	12	2

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
		22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	187	205	149	115	118	138	413	396	406	402	410	436	3,375
主な活動	職業準備訓練 職業適性検査・製品製造・接客・グループワーク・職場実習												

4.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。
避難訓練	8月	地震 火災	日中		○	○	防災センターで実施 初期消火体験・地震体験

5.主要行事

4月	ボウリングレク	10月	動物園
5月		11月	スポーツ・レク
6月		12月	調理レク
7月	スポーツレク	1月	
8月	焼肉レク(別保公園)・パークゴルフレク	2月	スポーツ・レク
9月	スポーツ・レク	3月	

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	12/2・12/4・12/5	27

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成31年4月17日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
令和1年10月16日	復命研修 虐待・権利擁護研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 9月4～6日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	全職員
令和元年 12月27日	職リハアセスメントと ソフトスキルトレーニング実践研修会	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
令和2年 2月8日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 12月28日	アセスメントを支援に 活かすためのセミナー	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	73名
令和2年 2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研修 会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	3日	会議 就業規則についてについて
	10日	会議 虐待防止、個人情報保護について
	17日	ケース会議 個別支援計画5月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	24日	ケース会議 ケース検討会議(ビストロ)
5月	8日	研修 障害特性について(知的障害)
	15日	研修 各作業班からSSTの振り返り発表
	22日	ケース会議 個別支援計画6月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	29日	ケース会議 ケース検討会議(べじぶる)
6月	5日	研修 復命研修「精神疾患と生活障がい～精神科医が考える多職種連携とは～」
	12日	ケース会議 ケース検討会議(れぼぜ)
	19日	ケース会議 個別支援計画7月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議 TTAP実施報告(作業班利用者を実施したもの)
7月	3日	研修 障害特性について(発達障害)
	10日	会議 防災・災害マニュアル、緊急LINEの確認・避難訓練の振り返り
	17日	研修 各作業班からSSTの振り返り発表
	24日	ケース会議 個別支援計画8月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	31日	ケース会議 ケース検討会議(ぷあぷ)
8月	7日	研修 ケース検討会議(ぷろぐれ)
	21日	研修 個別支援計画9月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	28日	ケース会議 SSSの概要を学ぶ(ACTエクササイズ・活動記録・Qスケール・ヘルスログ)

9月	11日	ケース会議	ケース検討会議(ジョブコーチ)
	18日	ケース会議	個別支援計画10月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	障害特性について(精神障害)
10月	2日	研修	高次脳機能障害の訓練と支援
	9日	会議	施設外実習の帳簿類について
	16日	研修	復命研修「虐待防止研修」
	23日	ケース会議	個別支援計画11月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	30日	ケース会議	ケース検討会議(ぱさーじゅ)
11月	6日	研修	職業リハビリテーション研究・実践発表会のポスター発表(発達・精神障害者の就労定着支援)について
	13日	ケース会議	ケース検討会議(相談)
	20日	研修	個別支援計画12月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	27日	ケース会議	SST各作業班の進捗状況・課題について
12月	18日	ケース会議	個別支援計画1月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	年度末振り返り発表
1月	15日	会議	各作業班の振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	29日	会議	各課・係の振り返り発表
2月	5日	会議	新年度各課・係の計画発表
	12日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案作成
	19日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案発表
3月	4日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	11日	会議	個別支援計画4月開始の方・利用半年を切った方のケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブサポートセンター ぱさーじゅ

令和2年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	就労定着支援員
常勤	1	1	
非常勤		1	5
合計	1	2	5

2.利用者の状況

① 就労定着支援の総利用者数	78	人
② ①のうち前年度末時点の就労継続者数	75	人
③ 就労定着率(②÷①)	96.15	%

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	60	61	61	61	60	60	65	68	71	72	73	75	787
主な活動	事業所訪問・家庭訪問・グループワーク・生活支援・交流会												

5.主要行事

4月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)	10月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センターフィットネスセンター)
5月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)	11月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センター・ふみぞの湯)
6月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (コア鳥取)	12月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センター・北菜亭)
7月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)	1月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)

8月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)	2月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)
9月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ・パークゴルフ)	3月	コロナにより実施なし

6. 研修関係

(1) 外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 9月4～6日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
令和元年 12月27日	職リハアセスメントと ソフトスキルトレーニング実践研修会	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
令和2年 2月8日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2) 施設外研修実施状況 (各事業委託を含む)

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 12月28日	アセスメントを支援に 活かすためのセミナー	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	73名
令和2年 2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研修 会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名

7. 定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況 (毎週水曜日)

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	3日	会議 就業規則についてについて
	10日	会議 虐待防止、個人情報保護について
	17日	ケース会議 個別支援計画5月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	24日	ケース会議 ケース検討会議(ビストロ)
5月	8日	研修 障害特性について(知的障害)
	15日	研修 各作業班からSSTの振り返り発表
	22日	ケース会議 個別支援計画6月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	29日	ケース会議 ケース検討会議(べじぶる)
6月	5日	研修 復命研修「精神疾患と生活障がい～精神科医が考える多職種連携とは～」
	12日	ケース会議 ケース検討会議(れぼぜ)
	19日	ケース会議 個別支援計画7月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議 TTAP実施報告(作業班利用者を実施したもの)

7月	3日	研修	障害特性について(発達障害)
	10日	会議	防災・災害マニュアル、緊急LINEの確認・避難訓練の振り返り
	17日	研修	各作業班からSSTの振り返り発表
	24日	ケース会議	個別支援計画8月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	31日	ケース会議	ケース検討会議(ふあふ)
8月	7日	研修	ケース検討会議(ふろぐれ)
	21日	研修	個別支援計画9月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	28日	ケース会議	SSSの概要を学ぶ(ACTエクササイズ・活動記録・Qスケール・ヘルスログ)
9月	11日	ケース会議	ケース検討会議(ジョブコーチ)
	18日	ケース会議	個別支援計画10月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	障害特性について(精神障害)
10月	2日	研修	高次脳機能障害の訓練と支援
	9日	会議	施設外実習の帳簿類について
	16日	研修	復命研修「虐待防止研修」
	23日	ケース会議	個別支援計画11月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	30日	ケース会議	ケース検討会議(ばさーじゅ)
11月	6日	研修	職業リハビリテーション研究・実践発表会のポスター発表(発達・精神障害者の就労定着支援)について
	13日	ケース会議	ケース検討会議(相談)
	20日	研修	個別支援計画12月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	27日	ケース会議	SST各作業班の進捗状況・課題について
12月	18日	ケース会議	個別支援計画1月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	年度末振り返り発表
1月	15日	会議	各作業班の振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	29日	会議	各課・係の振り返り発表
2月	5日	会議	新年度各課・係の計画発表
	12日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案作成
	19日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案発表
3月	4日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	11日	会議	個別支援計画4月開始の方・利用半年を切った方のケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブコミュニケーションセンターればぜ

令和2年3月31日現在

【就労継続支援B型事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	生活 支援員	目標工賃 達成 指導員	職業 指導員
常勤	1	1	0	1	1
非常勤			4	0	5
合計	1	1	4	1	6

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男	女	全体		
33名	46名	42.9歳	46.1歳	44.4歳	71歳	19歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	2	6	4	3	5	4	1	0	25
女	0	1	5	8	4	3	0	0	21

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	5	2	11	6	0	0	0	0	25
女	5	3	5	3	5	0	0	0	0	21

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場			
		家庭	他事業所	就労	その他
男	5		3		2
女	4	2	1		1

(4)障害の状況

①障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	その他
男	1	2	6	7	1	0	8
女	0	4	4	3	1	0	9
計	1	6	10	10	2	0	29

(5)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	715	739	698	743	703	694	722	684	705	706	670	683	8,462
主な活動	シール貼り、段ボール折り、銅線剥離、お菓子箱折り、ポスティング、贈答用箱折り												

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。
避難訓練	9月	地震 火災	日中		○	○	防災センターで実施 初期消火体験・地震体験

4.主要行事

4月	運動/レクリエーション	10月	運動/レクリエーション
5月	花見/レクリエーション	11月	
6月	運動/レクリエーション	12月	クリスマス会、運動/レクリエーション
7月	焼き肉/レクリエーション	1月	
8月	運動/レクリエーション	2月	運動/レクリエーション
9月	動物園/レクリエーション	3月	

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	12/2・12/4・12/5	43

5.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成31年4月17日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
令和1年10月16日	復命研修 虐待・権利擁護研修

6.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 9月4～6日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
令和元年 12月27日	職リハアセスメントと ソフトスキルトレーニング実践研修会	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
令和2年 2月8日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 12月28日	アセスメントを支援に 活かすためのセミナー	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	73名
令和2年 2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研修 会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名

7.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	3日	会議 就業規則についてについて
	10日	会議 虐待防止、個人情報保護について
	17日	ケース会議 個別支援計画5月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	24日	ケース会議 ケース検討会議(ピストロ)
5月	8日	研修 障害特性について(知的障害)
	15日	研修 各作業班からSSTの振り返り発表
	22日	ケース会議 個別支援計画6月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	29日	ケース会議 ケース検討会議(べじぶる)
6月	5日	研修 復命研修「精神疾患と生活障がい～精神科医が考える多職種連携とは～」
	12日	ケース会議 ケース検討会議(れぼぜ)
	19日	ケース会議 個別支援計画7月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議 TTAP実施報告(作業班利用者を実施したもの)

7月	3日	研修	障害特性について(発達障害)
	10日	会議	防災・災害マニュアル、緊急LINEの確認・避難訓練の振り返り
	17日	研修	各作業班からSSTの振り返り発表
	24日	ケース会議	個別支援計画8月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	31日	ケース会議	ケース検討会議(ふあふ)
8月	7日	研修	ケース検討会議(ふるぐれ)
	21日	研修	個別支援計画9月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	28日	ケース会議	SSSの概要を学ぶ(ACTエクササイズ・活動記録・Qスケール・ヘルスログ)
9月	11日	ケース会議	ケース検討会議(ジョブコーチ)
	18日	ケース会議	個別支援計画10月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	障害特性について(精神障害)
10月	2日	研修	高次脳機能障害の訓練と支援
	9日	会議	施設外実習の帳簿類について
	16日	研修	復命研修「虐待防止研修」
	23日	ケース会議	個別支援計画11月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	30日	ケース会議	ケース検討会議(ばさーじゅ)
11月	6日	研修	職業リハビリテーション研究・実践発表会のポスター発表(発達・精神障害者の就労定着支援)について
	13日	ケース会議	ケース検討会議(相談)
	20日	研修	個別支援計画12月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	27日	ケース会議	SST各作業班の進捗状況・課題について
12月	18日	ケース会議	個別支援計画1月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	年度末振り返り発表
1月	15日	会議	各作業班の振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	29日	会議	各課・係の振り返り発表
2月	5日	会議	新年度各課・係の計画発表
	12日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案作成
	19日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案発表
3月	4日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	11日	会議	個別支援計画4月開始の方・利用半年を切った方のケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター くしろジョブリカバリーセンターぷろぐれ

令和2年3月31日現在

【自立訓練事業(生活訓練)】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	生活 支援員
常勤	1	1	1
非常勤			2
合計	1	1	3

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男	女	全体		
7名	9名	49.7歳	44歳	48.3歳	57歳	35歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男			1	1	5				7
女				2					2

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～2年 未満	2～3年 未満	計(人)
男	3	3	1	7
女	1		1	2

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	利用前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	4	3	7				
女	1	1	2				

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続通所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	1	1				7
女							2

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別

	身体障害	精神障害	知的障害	発達障害	その他
男	4	2			1
女	1	1			
計	5	3	0	0	1

※自立支援医療受給者証保持者 2人

(6)利用者状況

定員	現員	障害 程度 区分	区分	1	2	3	4	5	6	その他	計	
7名	9名		男		1		1					2
			女									0
			計	0	1	0	1	0	0	0	2	

(7)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	160	141	154	140	145	158	188	167	175	172	150	161	1,911
主な活動	評価(心身機能、活動、参加、環境因子、個人因子、職業適性など)と個別プログラムの立案、心身機能の維持、向上に向けた練習・ADLやIADLの練習・余暇活動の提供・職業準備性向上に向けたトレーニング・心理教育												

3.主要行事

4月	調理レク(お好み焼き ホットケーキ)	10月	運動レク(サンアビ)
5月	花見レク(音別) 運動レク(サンアビ)	11月	おやつレク(ぱふえ)
6月	外出レク(アークス鳥取)	12月	クリスマス会(ホットケーキ)
7月	社会見学(道新総合印刷)	1月	焼き肉レク(ウェスタン)
8月	焼き肉レク(別保公園)	2月	運動レク(サンアビ)

9月	動物園見学	3月	おやつレク(蒸しパン作り)
----	-------	----	---------------

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	12/2・12/4・12/5	9

4.日間計画

9:00～9:30	身だしなみチェック 朝のミーティング スケジュール確認 ラジオ体操 MWT
9:30～10:30	個別訓練
10:30～11:30	フィットネスルーム
11:30～11:45	フリータイム
11:45～12:00	実績記録、移動
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:00	個別訓練
14:00～14:50	集団訓練
14:50～15:15	清掃活動
15:15～	帰りのミーティング MWT
15:30～	終了

5.週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	・9:40～ 個別訓練	・9:40～ 個別訓練	・9:40～ 個別訓練	・9:40～ 個別訓練	・9:40～ 個別訓練	・9:40～ 個別訓練
	・10:10～ フィットネスルーム	・10:10～ フィットネスルーム	・10:10～ フィットネスルーム	・10:10～ フィットネスルーム	・10:10～ フィットネスルーム	・10:10～ フィットネスルーム
午後	・13:00～ 個別訓練	・13:00～ 個別訓練	/	・13:00～ 委託掃除	・13:00～ 個別訓練	・13:00～ 個別訓練
	・14:00～ 集団訓練 (言語訓練)	・14:00～ 集団訓練 (SST)		・14:00～ 集団訓練 (グループミーティング)	・14:00～ 集団訓練 (園舎外)	・14:00～ 集団訓練 余暇活動

6.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。

7.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成31年4月17日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
令和1年10月16日	復命研修 虐待・権利擁護研修

8.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 9月4～6日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	全職員
令和元年 12月27日	職リハアセスメントと ソフトスキルトレーニング実践研修会	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
令和2年 2月8日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 12月28日	アセスメントを支援に 活かすためのセミナー	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	73名
令和2年 2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研 修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名

9.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	3日	会議 就業規則についてについて
	10日	会議 虐待防止、個人情報保護について
	17日	ケース会議 個別支援計画5月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	24日	ケース会議 ケース検討会議(ビストロ)

5月	8日	研修	障害特性について(知的障害)
	15日	研修	各作業班からSSTの振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画6月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	29日	ケース会議	ケース検討会議(ぺじぶる)
6月	5日	研修	復命研修「精神疾患と生活障がい～精神科医が考える多職種連携とは～」
	12日	ケース会議	ケース検討会議(れぼぜ)
	19日	ケース会議	個別支援計画7月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	TTAP実施報告(作業班利用者に実施したもの)
7月	3日	研修	障害特性について(発達障害)
	10日	会議	防災・災害マニュアル、緊急LINEの確認・避難訓練の振り返り
	17日	研修	各作業班からSSTの振り返り発表
	24日	ケース会議	個別支援計画8月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	31日	ケース会議	ケース検討会議(ぶあぶ)
8月	7日	研修	ケース検討会議(ぶろぐれ)
	21日	研修	個別支援計画9月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	28日	ケース会議	SSSの概要を学ぶ(ACTエクササイズ・活動記録・Qスケール・ヘルスログ)
9月	11日	ケース会議	ケース検討会議(ジョブコーチ)
	18日	ケース会議	個別支援計画10月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	障害特性について(精神障害)
10月	2日	研修	高次脳機能障害の訓練と支援
	9日	会議	施設外実習の帳簿類について
	16日	研修	復命研修「虐待防止研修」
	23日	ケース会議	個別支援計画11月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	30日	ケース会議	ケース検討会議(ばさーじゅ)
11月	6日	研修	職業リハビリテーション研究・実践発表会のポスター発表(発達・精神障害者の就労定着支援)について
	13日	ケース会議	ケース検討会議(相談)
	20日	研修	個別支援計画12月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	27日	ケース会議	SST各作業班の進捗状況・課題について
12月	18日	ケース会議	個別支援計画1月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	年度末振り返り発表
1月	15日	会議	各作業班の振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	29日	会議	各課・係の振り返り発表
2月	5日	会議	新年度各課・係の計画発表
	12日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案作成
	19日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案発表
3月	4日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	11日	会議	個別支援計画4月開始の方・利用半年を切った方のケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター グループホームブルミエ

令和2年3月31日現在

【共同生活援助事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	世話人	生活 支援員
常勤	1	1	12	6
非常勤		1	0	0
合計	1	2	12	6

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員	性別	
		男	女
		24歳	12歳

ホーム名	定員	現員	障がい支援区分				
			区分1及び非該当	区分2	区分3	区分4	区分5
ブルミエ	5	5	0	0	3	1	1
ブルミエドゥ	5	5	0	0	5	0	0
ルシエル	6	6	0	2	2	2	0
ソレイユ	5	5	0	1	2	2	0
ブレザン	5	4	0	2	2	0	0
フェミナン	6	6	0	0	3	2	1
フルール	5	5	0	1	2	1	1
計	37	36	6	19	8	3	0

(2)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	24	2	1	1			
女	12	0					

※その他の内訳()

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	3				2	1	24
女							12

※その他の内訳(一人暮らし)

(4)就労状況

ホーム名	現員	就労状況			
		一般就労	就労継続A型	就労継続B型	就労移行
ブルミエ	5	2		3	
ブルミエドゥ	5	2	2	1	
ルシエル	6	2		3	1
ソレイユ	5	4		1	
ブレザン	4	4			
フェミナン	6	3		3	
フルール	5	1		2	2
計	36	18	2	13	3

3.健康管理

実施項目	実施時期	備考
健康診断	9月～2月	若者検診・特定健診、大腸検診等
インフルエンザ予防接種	11～12月	利用者全員
体調不良時通院同行	随時	
服薬管理	随時	
体重・血圧測定	月1回	利用者全員
ダイエット支援	随時	対象利用者

4.防災対策

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	設定時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	9月	火災地震	夜間	○	○	○	世話人不在時の設定
避難訓練	2月	地震火災	日中	○	○	○	地震から火災の設定
避難訓練	9月	風水害	日中夜間			○	図上訓練

5.行事・余暇支援

実施日	行事	利用者数	同行職員数	行先等
R1.4.7.	フルール レクリエーション	5	1	買い物・昼食
R2.4.7	ルシエル レクリエーション	5	1	ボウリング・昼食
R2.4.14	ソレイユ レクリエーション	5	1	ボウリング・昼食
R2.4.21	プルミエ レクリエーション	5	1	ボウリング・昼食
R2.4.28	ブルミエドゥ レクリエーション	4	1	映画・昼食
R2.4.28	プレザン レクリエーション	3	1	細岡展望台散策・昼食
R2.4.28	フェミナン レクリエーション	3	1	映画・昼食
R1.5.4	プルミエ レクリエーション	5	1	鶴居グリーンパーク
R1.5.3	フェミナン レクリエーション	3	1	別保公園、買い物・昼食
R1.5.5	ブルミエドゥ レクリエーション	4	1	ボウリング・昼食
R1.5.9	ルシエル レクリエーション	6	1	映画・昼食
R1.5.12	ソレイユ レクリエーション	5	1	湿原展望台他・昼食
R.15.14	プレザン レクリエーション	5	1	別保公園桜まつり・買い物
R.15.19	フルール レクリエーション	2	1	山花リフレ調理実習・入浴
R.1.5.26	プルミエ レクリエーション	3	1	動物園・山花リフレ
実施日	行事	利用者数	同行職員数	行先等
R1.6.2	フェミナン レクリエーション	4	1	山花リフレ調理実習・入浴
R1.6.16	ルシエル レクリエーション	6	1	卓球・買い物支援・昼食
R1.6.16	プレザン レクリエーション	4	1	快活クラブ・昼食・買い物
R1.6.16	プルミエ レクリエーション	5	1	博物館・買い物・昼食
R1.6.30	ソレイユ レクリエーション	5	1	博物館・春採公園・昼食
R1.6.30	フルール レクリエーション	2	1	ふれあい広場
R1.7.2～R1.7.4	グループホーム旅行	37	13	熱海温泉
R1.8.4	プレザン レクリエーション	4	1	港まつり
R1.8.4	ソレイユ レクリエーション	5	1	パークゴルフ・昼食
R1.8.9	フェミナン・フルール レクリエーション	5	1	パークゴルフ・昼食
R1.8.12	フェミナン・フルール レクリエーション	3	1	映画鑑賞・昼食
R1.8.18	プルミエ レクリエーション	5	1	厚岸ドライブ
R1.8.25	ソレイユ レクリエーション	6	1	昼食・買い物同行
R1.8.25	ブルミエドゥ レクリエーション	5	2	映画鑑賞・昼食
R1.9.6	GH親睦会	37	17	ウエスタン入江店
R1.9.21	いちの会	5	1	ボウリング・昼食

R1.10.2	ルシエル レクレーション	6	1	摩周湖・硫黄山
R1.10.2	ブルミエ・フルール レクレーション	5	1	オンネトー・阿寒湖畔
R1.10.2	ソレイユ レクレーション	5	1	音別バーベキュー祭り
R1.10.20	プレザン レクレーション	2	1	摩周湖・硫黄山
R1.10.20	ソレイユ レクレーション	4	1	霧多布展望台・コンキリエ
R1.10.20	フェミナンレクレーション	4	1	オンネトー・阿寒湖畔
R1.11.3	ソレイユ レクレーション	5	1	ボウリング・昼食・買い物
R1.11.3	ブルミエドゥ レクレーション	5	1	ボウリング・遊学館・昼食
R1.11.3	ルシエル レクレーション	6	1	ボウリング・昼食・買い物
R1.11.17	ブルミエ レクレーション	3	1	多和平展望台・温泉
R1.11.17	プレザン レクレーション	5	1	遊学館・ウエスタン・買い物
R1.11.19	フェミナン・フルール レクレーション	7	1	映画鑑賞・昼食
R1.12.6	グループホーム合同忘年会	37	20	センチュリーキャッスルホテル
2020/1/17.18	正月新年旅行	13	6	阿寒湖畔温泉つる雅
R2.2.2	プレザン レクレーション	5	1	氷まつり、昼食、買い物
R2.2.2	ルシエル レクレーション	6	1	ボウリング、遊学館、氷まつり
R2.2.2	ソレイユ レクレーション	3	1	快活クラブ・昼食・買い物
R2.2.23	ブルミエ レクレーション	5	1	ボウリング、遊学館、買い物
R2.2.23	ブルミエドゥ レクレーション	5	1	快活クラブ・昼食・買い物
R2.2.23	フェミナン・フルール レクレーション	6	1	調理実習、大喜湯

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成31年4月17日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
令和1年10月16日	復命研修 虐待・権利擁護研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 9月4～6日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	全職員
令和元年 12月27日	職リハアセスメントと ソフトスキルトレーニング実践研修会	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
令和2年 2月8日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
令和元年 12月28日	アセスメントを支援に 活かすためのセミナー	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	73名
令和2年 2月9日	今日から使えるソーシャルスキル研 修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	3日	会議 就業規則について
	10日	会議 虐待防止、個人情報保護について
	17日	ケース会議 個別支援計画5月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	24日	ケース会議 ケース検討会議(ピストロ)

5月	8日	研修	障害特性について(知的障害)
	15日	研修	各作業班からSSTの振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画6月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	29日	ケース会議	ケース検討会議(べじぶる)
6月	5日	研修	復命研修「精神疾患と生活障がい～精神科医が考える多職種連携とは～」
	12日	ケース会議	ケース検討会議(れぼぜ)
	19日	ケース会議	個別支援計画7月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	TTAP実施報告(作業班利用者に実施したもの)
7月	3日	研修	障害特性について(発達障害)
	10日	会議	防災・災害マニュアル、緊急LINEの確認・避難訓練の振り返り
	17日	研修	各作業班からSSTの振り返り発表
	24日	ケース会議	個別支援計画8月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	31日	ケース会議	ケース検討会議(ぶあぶ)
8月	7日	研修	ケース検討会議(ぶろぐれ)
	21日	研修	個別支援計画9月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	28日	ケース会議	SSSの概要を学ぶ(ACTエクササイズ・活動記録・Qスケール・ヘルスログ)
9月	11日	ケース会議	ケース検討会議(ジョブコーチ)
	18日	ケース会議	個別支援計画10月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	障害特性について(精神障害)
10月	2日	研修	高次脳機能障害の訓練と支援
	9日	会議	施設外実習の帳簿類について
	16日	研修	復命研修「虐待防止研修」
	23日	ケース会議	個別支援計画11月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	30日	ケース会議	ケース検討会議(ばさーじゅ)
11月	6日	研修	職業リハビリテーション研究・実践発表会のポスター発表(発達・精神障害者の就労定着支援)について
	13日	ケース会議	ケース検討会議(相談)
	20日	研修	個別支援計画12月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	27日	ケース会議	SST各作業班の進捗状況・課題について
12月	18日	ケース会議	個別支援計画1月開始の方・利用半年を切った方のケース会議
	25日	研修	年度末振り返り発表
1月	15日	会議	各作業班の振り返り発表
	22日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	29日	会議	各課・係の振り返り発表
2月	5日	会議	新年度各課・係の計画発表
	12日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案作成
	19日	ケース会議	個別支援計画検討・利用半年を切った方のケース会議
	26日	会議	新年度 各作業班・各部門の計画案発表
3月	4日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	11日	会議	個別支援計画4月開始の方・利用半年を切った方のケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 指定相談支援事業所 自立センター 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援・障害児相談支援)】

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。

① サービス等利用計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
計画相談受理件数	3	0	6	1	1	0	2	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	1	4	0	3	0	6	0
計画案作成件数	26	0	26	1	33	13	27	1	31	0	50	5	24	2	29	2	27	2	30	1	27	6	41	7
計画作成件数(※)	31	7	36	2	23	1	33	9	34	0	30	4	53	7	26	4	28	15	33	2	31	1	31	6
モニタリング作成件数(※)	57	3	63	9	94	5	48	5	47	5	47	7	60	2	53	6	87	19	64	6	59	6	71	8
基本的な相談として受けている相談件数(計画相談の請求に関わらない相談支援件数)	163	15	138	26	156	22	170	22	133	19	114	10	137	17	153	24	106	16	136	7	113	13	168	22
一般的な相談として受けている相談件数(契約していない方の相談支援件数)	30	0	51	0	30	0	35	1	46	3	23	1	18	2	22	0	33	0	41	1	28	0	13	2

② 障害児支援利用計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
計画相談受理件数	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画案作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計画作成件数(※)	18	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モニタリング作成件数(※)	0	0	3	0	5	0	0	0	1	0	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本的な相談として受けている相談件数(計画相談の請求に関わらない相談支援件数)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般的な相談として受けている相談件数(契約していない方の相談支援件数)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○障がい支援区分認定調査

障がい支援区分は、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。市町村がサービスの種類や量などを決定するための判断材料の

一つとして、市内の相談支援事業所の認定調査員に委託して、訪問による聞き取り調査を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
釧路市	10	30	10	24	17	16	16	19	16	24	13	6
釧路市以外		1	2		1		1	3				

209(件)

○研修・会議等

研修名称	日付	場所
ジョブコーチカンファレンス2019	7/12～15	沖縄県
災害時精神医療を考える会	11/5	釧路市
第27回 職リハ研究集会	11/17～20	札幌市
相談支援従事者研修	12/25～26	札幌市
SST	2/9	釧路市

会議名称	頻度	場所
釧路市自立支援協議会・相談支援部会	月1回	市役所
釧路町サービス評価部会	不定期	あいばーる

別紙 1

令和元年度 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

受託者名 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん

区分	計画内容	具体的実施状況
<p>1. 就業支援の実施 (1) 相談・支援の実施</p>	<p>主任就業支援担当者1名、就業支援担当者3名、主任職場定着支援担当者1名、事務補助員1名を配置し、以下の業務を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。 ○ 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う ○ 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする ○ 障害者雇用支援者に関する情報の収集及び提供、障害者雇用支援者に対する研修等を行う。 ○ 職業的障害者特性を明らかにするための職業評価及び検査依頼に応えるため、検査器具を購入し職業評価及び器具検査を実施する ○ 地域における定着支援の中核として、企業等からの職場定着や雇用管理等についての相談に対する助言や支援策に対応した他の支援機関等とのコーディネートを行う 	<p>主任就業支援担当者1名（原田千春）、主任職場定着担当者1名（高谷さふみ）、就業支援担当者（吉川将人・中村匠・前谷典弘）を配置、次の支援を行った。</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者に対する相談・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 824名 ・相談件数 12,506件 (うち職場定着 909件) ・就職件数 80件 ・主任職場定着支援件数 151件 ○ 事業主に対する相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者数 285件 ・相談支援件数 2,876件 ○ 職場実習のあっせん件数 65件 職業訓練あっせん件数 1件 ○ 主な相談内容 <ul style="list-style-type: none"> 対象障害者支援 <ul style="list-style-type: none"> ・就職したい ・転職したい ・職業選択ができない ・職業評価をしてほしい ・キャリアアップをしたい ・対人関係がうまくいかない ・定着に向けた支援 事業主支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇い入れをしたい ・障がい特性についての説明 ・作業指導の仕方がわからない ・合理的配慮の提供義務について ・復職支援について
<p>(2) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定 	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在職者交流会 「第1回ぷれん在職者交流会、相談/昼食会」 R1年6月8日 参加人数 8名

<p>(3) SST を活用したグループワークによる精神障害者への先駆的な職場定着支援の実施</p>	<p>着を促進する（年4回）</p> <p>○ 精神・発達障害の在職者を対象に定着支援の一環としてSST等を実施する（年6回）</p>	<p>「第2回ぶれん在職者交流会、水族館見学、外食交流会」 R1年8月31日 参加人数 3名</p> <p>「第3回ぶれん在職者交流会、相談会/昼食会」 R2年1月19日 参加人数 25名</p> <p>「第4回ぶれん在職者交流会、健康管理について」 R2年2月22日 参加人数 12名</p> <p>(3)</p> <p>○ SSTを活用したグループワーク</p> <p>「第1回SSTを活用したグループワーク、活力ある職業生活についてミニ講座（TEG、ACT）」 R1年6月8日 参加人数 12名</p> <p>「第2回SSTを活用したグループワーク、アサーション」 R1年9月28日 参加人数 9名</p> <p>「第3回SSTを活用したグループワーク、怒りのコントロール」 R1年12月23日 参加人数 10名</p> <p>「第4回SSTを活用したグループワーク、チャレンジカードを活用した対人コミュニケーション」 R2年1月19日 参加人数 5名</p> <p>「第5回SSTを活用したグループワーク、プライベートゾーンについて」 R2年2月22日 参加人数 12名</p> <p>「第6回SSTを活用したグループワーク、SST」 R2年2月24日 参加人数 17名</p>
<p>(4) ピアサポートの活動の実施</p>	<p>○ 就労を目指す障害者に対して就業している当事者を活用し支援員では得がたい安心感や自己肯定感を得ることで就労促進を図る。（年4回）</p>	<p>(4)</p> <p>○ ピアサポート活動</p> <p>「第1回ピアサポート活動、職業人講話（青塚優樹氏）」 R2年1月19日 参加人数 2名</p> <p>「第2回ピアサポート活動、職業人講話（加藤美沙紀氏）」 R2年2月24日 参加人数 17名</p>
<p>(5) 中小企業における障害者支援担当者に対する支援の実施</p>	<p>○ 中小企業の障害者雇用管理担当者や実務担当者を対象に事例発表会や勉強会等を開催し企業の垣根を越え日常的に相談し合えるネットワークの構築を図る。（年2回）</p>	<p>(5)</p> <p>○ 企業セミナー</p> <p>第1回企業セミナー 障害特性と職業的な関わり方の方法 R2年1月28日 参加人数 13名</p> <p>第2回企業セミナー 障害者雇用と合理的配慮について R2年2月27日</p>

<p>(6) 就業支援担当者の研修等</p>	<p>○ 障害者職業総合センターにおける障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者研修（初任者研修）を受講し、業務に必要な知識・スキルを習得する（就業支援担当者3名） 開催地 千葉</p> <p>○ 主任職場定着担当者研修に参加し地域の職場定着支援に向け必要な事を理解し資質の向上を図る（主任職場定着担当1名） 開催地 東京</p> <p>○ 障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う（就業支援担当者1名） 開催地 山形</p> <p>○ 都道府県就業・生活支援センター連絡会議に参加し現状と課題の整理を行いセンターの資質を向上させる（就業支援担当者2名） 開催地 旭川、函館</p> <p>○ 第21回全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会に参加し、望ましい支援の在り方や支援組織の運営に関する諸問題などについて情報交換を行い、問題の解決に向けて身近な地域における就業支援やネットワークのあり方について学び地域で実践を行う（就業担当者2名） 開催地 秋田</p> <p>○ 対象者が就業場面で必要とされる支援技術を習得するため研修・研究会等に参加し必要な知識・スキルを習得する ・平成31年6月8日～9日 開催地 函館</p> <p>『ワークショップ自閉症者の就労に向けて～アセスメントに基づいた支援～』（就業担当者1名） ・開催日時未定 千葉</p>	<p>日 参加人数 9名の予定であったが、北海道において新型コロナウイルス感染者が拡大し、自治体より緊急事態措置宣言により参加辞退が相次いだ。講演予定であった資料を参加予定者に送付、情報共有を行った。</p> <p>(6)</p> <p>○ 障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者研修（初任者研修） R1.5.21～R1.5.24 1名受講 R1.8.6～R1.8.9 1名受講 他1名分、職員入れ替えの時期と重なり、担当者研修に参加できずに終了</p> <p>○ 主任職場定着担当者研修 R2.2.13～R2.2.16 1名参加</p> <p>○ 障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議 R1.11.27 1名参加</p> <p>○ 都道府県就業・生活支援センター連絡会議 R1.8.2 2名参加 R1.12.6 3名参加</p> <p>○ 第21回全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会 R2.2.1 1名参加</p> <p>○ 対象者が就業場面で必要とされる支援技術を習得するため研修・研究会等に参加し必要な知識・スキルを習得する</p> <p>ワークショップ自閉症者の就労に向けて～アセスメントに基づいた支援～ R1.6.8～9 1名参加</p>
------------------------	---	---

<p>2. 関係機関との連絡会議の開催</p>	<p>職業リハビリテーション研究集会に参加し精神障害者に対する職場定着支援にかかる支援事例を発表する（就業担当者2名）（生活担当1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月19日 札幌 ソーシャルストーリー研修に参加し社会的なルールの学びを支援する技法を学ぶ。（就業担当1名） ・令和元年6月27日 佐賀 T-step 研修会に参加し発達障害者に必要な職業準備トレーニング方法について学ぶ（就業担当者1名） ・令和元年8月23日～24日 大阪 第47回職業リハビリテーション学会に参加し障害者の就労支援について深める（就業担当者1名） ・開催日時未定 東京 ジョブコーチカンファレンスに参加し支援の質の向上を目指し全国の好事例について学ぶ（就業担当者1名） <p>○ 業務の円滑かつ有効な実施に資するため、労働局、ハローワーク、地域障害者職業センター、自治体、福祉事務所、保健所等の関係機関との連絡会議を開催し、これら機関との連携を図る（年2回）</p> <p>○ 地域の就労の強化を図るため研修会及びフォーラムを開催する（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月20日～21日 アセスメントを支援に活かすための研修会～TTAP/WAISを中心として～ ・令和2年2月15日～16日 SST スキルアップ研修会 	<p>職業リハビリテーション研究集会支援事例発表</p> <p>R1.11.6 4名参加</p> <p>ソーシャルストーリー研修</p> <p>R1.5.19 2名参加</p> <p>TEACCH学校から就労へおよび中等教育後のプログラム</p> <p>R1.6.27 1名参加</p> <p>第47回職業リハビリテーション学会</p> <p>R1.8.23～24 1名参加</p> <p>ジョブコーチカンファレンス参加</p> <p>R1.7.13 1名参加</p> <p>○ 連絡会議</p> <p>令和元年度第1回障害者就業・生活支援センター連絡会議</p> <p>R1.8.2 1名参加</p> <p>令和元年度第2回障害者就業・生活支援センター連絡会議</p> <p>R2.3.12（北海道における新型コロナウイルス感染者の拡大のため、中止となる）</p> <p>○ 地域研修会及びフォーラム開催</p> <p>アセスメントを支援に活かすための研修会</p> <p>講師：倉本 義則氏 ：梅永 雄二氏</p> <p>R1.12.28 地域からの参加者 27名</p> <p>今日から使えるソーシャルスキル研修会</p> <p>講師：土屋 徹氏</p> <p>R2.2.9 地域からの参加者 31名</p>
-------------------------	--	---

平成31年度における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告

<集計期間：平成31年4月1日～平成32年3月31日>

(1) 運営法人名 **社会福祉法人 釧路のぞみ協会**

(2) センター名 **くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん**

(3) 実施体制

イ 就業支援担当者

注) 国からの委託（障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定等事業)）で配置している者

氏名	主な職歴 (職種のみで可、所属の記載は不要)	保有資格 就業支援の実務経験年数
	幼稚園教諭、ジョブコーチ	教員免許、保育士 25年
	介護士、職業支援員、就業支援員	介護福祉士、ジョブコーチ 7年
	生活支援員、児童指導員、職業指導員	介護福祉士 2年
	就業支援員	介護福祉士、ジョブコーチ 1年
	教諭、職業訓練指導員、児童自立支援専門員、就業支援員	保育士、キャリアコンサルタント 0年

ロ 生活支援担当者

注) 都道府県からの委託（障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)）で配置している者

氏名	主な職歴 (職種のみで可、所属の記載は不要)	保有資格 生活支援の実務経験年数
	生活支援員	0年
	生活支援員	ジョブコーチ 9年

注) 本報告において収集する支援担当者に関する情報(個人情報)については、障害者就業・生活支援センター事業の実施状況の把握等、適正な運営に資するための参考として利用します。

※イ、ロについて行が不足する場合には、行の追加は行わず、別シート「補足様式」にて登録すること。

ハ 上記イ及びロ以外で配置している支援担当者

(法人負担又は地方自治体からの補助等による)

(うち地方自治体からの補助等により配置している者)

① 法人内の他業務と兼務で配置している者 人

(人)

② センター業務専任で配置している者 人

(人)

(4) 法人におけるその他の事業の実施状況 (実施している場合のみ記載)

① ジョブコーチ助成金における第1号ジョブコーチの配置及び支援実施状況

配置数 人 支援対象者数 人

② 障害者の態様に応じた多様な委託訓練の受託実施状況

訓練受講者数 人

注) 以下Ⅰ～Ⅵの項目については、当該法人が実施している他の業務の実績ではなく、障害者就業・生活支援センター事業の実績を記載すること。

Ⅰ 支援対象障害者の状況

(1) 登録状況(障害種別、就業状況) (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
在職中	66	18	213	44	116	86	481
求職中	1	0	9	0	2	2	14
その他	33	13	122	20	82	92	329
合計	100	31	344	64	200	180	824

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	52	5	1	28	86
求職中	2	0	0	0	2
その他	53	5	5	29	92
合計	107	10	6	57	180

注1) 平成31年度末(平成32年3月末)時点で支援対象として登録している障害者の数を計上する。

原則、合計値については、四半期報告の第4四半期報告の合計の数値と一致していること。

長期間支援を行っていない者、支援を必要としなくなった者、連絡がとれない者など、登録を取り消した者等は除く。

注2) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、別添の留意点を確認すること。

(2) 平成31年度中に新規に登録した障害者の数 146 人

(3) 平成31年度新規求職者数(延べ人数) (人)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
17	45	24	20	106

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
17	1	0	2	20

注) 四半期報告毎の新規求職者数の合計と一致すること。

(4) 上記(1)の登録者のうち法人内施設の利用者の割合 約 1 割

(5) 支援対象障害者(登録者)の居住地の状況 (人)

①同一市区町村内	685
②同一障害保健福祉圏域内(①を除く)	84
③上記①及び②以外	55
合計	824

注) 上記(1)の合計と数値が一致しているか確認すること。

(6) 上記(2)の新規登録者の利用経路 (支援センターを利用するに至った経緯(経路)) (人)

①ハローワーク	45
②地域障害者職業センター	0
③特別支援学校	34
④就労移行支援事業所	3
⑤上記④以外の福祉サービス事業所	11
⑥福祉事務所、市町村役場等行政機関	17
⑦直接利用 (家族を含む)	11
⑧上記以外 ※	25
合計	146

注1) 正確な人数の把握が困難な場合は、おおよその数を計上すること。

注2) 上記(2)と合計の数値が一致しているか確認すること。

※「⑧上記以外」の具体的な利用経路

企業、医療機関、一般高等学校、短期大学

II 障害者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障害者に対する相談・支援

① 支援対象障害者に対する相談・支援件数(手段別) (件)

※直接本人・家族を支援するものに限りに、他機関とのケース会議(本人不在)等の間接支援は含まない。

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	136	565	422	714	1,837
電話・Fax・e-mail(本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含)	546	1,256	1,216	1,749	4,767
職場訪問(定着支援のほか、職場実習支援を含む)	250	795	456	491	1,992
家庭・利用施設への訪問	25	57	36	24	142
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援等)	210	1,432	862	1,264	3,768
合計	1,167	4,105	2,992	4,242	12,506

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	399	28	13	274	714
電話・Fax・e-mail(本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含)	821	37	56	835	1,749
職場訪問(定着支援のほか、職場実習支援を含む)	268	15	20	188	491
家庭・利用施設への訪問	16	0	2	6	24
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援等)	465	42	40	717	1,264
合計	1,969	122	131	2,020	4,242

※「その他」の具体的な支援内容(主なものを記載)

ケース会議への参加、ハローワークへの同行、医療機関への同行、行政窓口への手続き支援

② 相談・支援件数(内容別)

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	426	1,619	1,212	1,887	5,144
職場定着に向けた相談・支援	119	403	308	403	1,233
日常生活、社会生活に関する相談・支援	52	422	149	297	920
就業と生活の両方にわたる相談・支援	570	1,661	1,323	1,655	5,209
合計	1,167	4,105	2,992	4,242	12,506

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	758	39	69	1,021	1,887
職場定着に向けた相談・支援	209	37	9	148	403
日常生活、社会生活に関する相談・支援	130	5	15	147	297
就業と生活の両方にわたる相談・支援	872	41	38	704	1,655
合計	1,969	122	131	2,020	4,242

注1) 上記①と合計の数値が一致することを確認すること。

原則、合計値については、四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。

注2) 「就職」「職場定着」「日常生活、社会生活」のいずれかに分類し、分けられない場合のみ「就業と生活の両方にわたる」に分類すること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。
内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。
ただし、日課的に行っている出勤の確認等ごく軽微な電話連絡等は含めないこと。

(2) 個別支援計画の作成状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
48	109	73	92	322

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
54	2	0	36	92

(3) 地域障害者職業センターへの職業評価依頼件数

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
5	30	14	17	66

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
15	0	2	0	17

(4) 併設施設又は提携施設における基礎訓練の実施状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
1	1	2	1	5

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
1	0	0	0	1

注1) 就労移行支援事業者、就労継続支援事業者、授産施設、更生施設等に依頼して実施した基礎訓練の件数を計上する。

注2) 企業内授産等は、基礎訓練に含むこと。

(5) 職業準備訓練のあっせん状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
0	1	0	0	1

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
0	0	0	0	0

注) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12月分の合計の数値と一致していること。

(6) 職場実習のあっせん状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
X. 職場実習(3日以上4ヵ月以内)	2	5	11	6	24
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練(一般、短期)	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース(職場実習組込型)」等	1	3	3	0	7
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. その他(労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度等)	10	13	7	4	34
合計	13	21	21	10	65

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
X. 職場実習(3日以上4ヵ月以内)	5	0	1	0	6
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練(一般、短期)	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース(職場実習組込型)」等	0	0	0	0	0
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. その他(労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度等)	4	0	0	0	4
合計	9	0	1	0	10

注1) 「職場実習等」に計上できるものについては、別添の留意点を確認すること。

注2) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

※その他の主な内容

北海道労働局障害者職場実習推進事業、釧路市実習、釧路町実習、根室市実習

(7) 各種就業支援制度の活用状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援 (上記(6)Cを含む)	3	22	8	8	41
②障害者試行雇用(トライアル雇用)事業	8	15	7	8	38
③その他の就業支援制度 ※	0	0	0	0	0
合計	11	37	15	16	79

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援 (上記(6)Cを含む)	7	1	0	0	8
②障害者試行雇用(トライアル雇用)事業	7	1	0	0	8
③その他の就業支援制度 ※	0	0	0	0	0
合計	14	2	0	0	16

※「その他の就業支援制度」の具体的な内容

--

(8) 支援対象障害者の就職件数

① 一般事業所への就職件数 (※1ヵ月以上の雇用) (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
一般 (30時間以上)	10	3	26	3	11	13	60
短時間① (20時間以上30時間未満)	3	2	4	0	6	3	16
短時間② (20時間未満)	0	0	1	0	3	0	4
合計	13	5	31	3	20	16	80

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	12	1	0	0	13
短時間① (20時間以上30時間未満)	2	0	0	1	3
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	0
合計	14	1	0	1	16

注1) 「就職件数」の計上の仕方については、別添の留意点を確認すること。(1ヵ月以上の雇用であること等)

注2) 前年度以前に就職し、雇用継続している者の数は含まない。

注3) 原則、合計値については、四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

② 就労継続支援雇用型事業所、福祉工場への就職件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
一般 (30時間以上)	0	0	2	0	1	0	3
短時間① (20時間以上30時間未満)	2	0	1	0	2	2	7
短時間② (20時間未満)	0	0	1	0	0	0	1
合計	2	0	4	0	3	2	11

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	0	0	0	0	0
短時間① (20時間以上30時間未満)	1	0	0	1	2
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	2

③ 上記①②以外の就職件数

例) 1ヵ月未満の雇用等

0件

(9) 職場定着支援の実施状況

① 職場訪問による職場定着支援の実施件数

909件

注1) 上記(1)②で計上した職場定着支援に向けた相談及び以降のⅢ(2)③のうち、職場訪問により定着支援を行った件数のみを計上すること

注2) 四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

②平成30年4月から平成31年3月までに就職した者のうち、就職後6ヶ月時点及び就職後1年経過時点の在職者数

A. 平成30年4月～平成31年3月までの就職件数(30年度実績) (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
一般 (30時間以上)	13	3	12	0	21	16	62
短時間① (20時間以上30時間未満)	6	0	16	1	7	2	31
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	1	2	3
合計	19	3	28	1	29	20	96

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	10	1	0	5	16
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	0	0	2	2
短時間② (20時間未満)	1	1	0	0	2
合計	11	2	0	7	20

注1) 平成30年度年次報告の一般事業所への就職件数(※1ヶ月以上の雇用)と一致していること

B. 上記Aのうち就職後6ヶ月経過時点での在職者数 (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	18	2	24	1	25	19	86

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
10	2	0	7	19

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

C. 6ヶ月経過時点の定着率(B/A) (%)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	94.7%	66.7%	85.7%	100.0%	86.2%	95.0%	89.6%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
90.9%	100.0%	-	100.0%	95.0%

注1) B欄の合計/A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

D. 上記Aのうち就職後1年経過時点での在職者数 (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	15	2	22	1	23	17	77

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
9	1	0	7	17

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

E. 1年経過時点の定着率(D/A) (%)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	78.9%	66.7%	78.6%	100.0%	79.3%	85.0%	80.2%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
81.8%	50.0%	-	100.0%	85.0%

注1) D欄の合計/A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

F. 平成30年4月～平成31年3月までの就職件数のうち、**雇用契約等により1年以内に離職することが明白な者を除いた就職件数**(30年度実績)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
一般 (30時間以上)	11	2	11	0	21	15	58
短時間① (20時間以上30時間未満)	6	0	14	1	7	2	29
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	1	2	3
合計	17	2	25	1	29	19	90

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	9	1	0	5	15
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	0	0	2	2
短時間② (20時間未満)	1	1	0	0	2
合計	10	2	0	7	19

注)上記Aの就職件数から、雇用契約等の内容等により1年以内に離職することが明白な者を除いた就職件数を記載

(1年以内の有期雇用契約であるが、更新規定がある場合等、1年以上引き続き雇用される可能性がある者については件数から除かないこと。)

G. 上記Fのうち就職後1年経過時点での在職者数 (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	14	2	22	1	23	17	76

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
9	1	0	7	17

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

H. 1年経過時点の定着率(D/A) (%)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	82.4%	100.0%	88.0%	100.0%	79.3%	89.5%	84.4%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
90.0%	50.0%	-	100.0%	89.5%

注1) G欄の合計/F欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

③定期的な集まり(支援対象障害者同士の交流)開催状況

注) センターの支援対象障害者を対象として取り組んでいることで、センターが主催するものがあれば記載してください。(本人活動支援を含む)※同窓会、茶話会、その他余暇行事等、雇用安定等事業で実施すべきものではないものは除く。

在職者交流会、及びSST等グループワークの実施

Ⅲ 事業主に対する支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数

285 事業所

注) 平成31年度に1回以上相談・支援を行った実事業所数

(2) 相談・支援件数(手段別)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①センターへの来所	16	52	43	81	192
②電話・Fax・e-mail	176	370	362	525	1,433
③企業訪問(職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	166	342	246	358	1,112
④その他 ※	21	23	21	74	139
合計	379	787	672	1,038	2,876

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①センターへの来所	35	4	0	42	81
②電話・Fax・e-mail	175	5	9	336	525
③企業訪問(職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	165	4	6	183	358
④その他 ※	22	0	2	50	74
合計	397	13	17	611	1,038

※「その他」の具体的な支援手段

ケース会議

(3) 相談・支援件数(内容別)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①雇入れに関する相談・支援	150	361	265	484	1,260
②雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援(社内の対人関係・コミュニケーション、作業効率、作業態度等)	95	215	202	295	807
③雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	134	208	202	229	773
④障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0	0	0	0	0
⑤その他 ※	0	3	3	30	36
合計	379	787	672	1,038	2,876

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①雇入れに関する相談・支援	133	0	14	337	484
②雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援(社内の対人関係・コミュニケーション、作業効率、作業態度等)	140	11	3	141	295
③雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	123	2	0	104	229
④障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0	0	0	0	0
⑤その他 ※	1	0	0	29	30
合計	397	13	17	611	1,038

上記(2)と合計の数値が一致することを確認すること。

注) ①～⑤のいずれかに分類すること。複数項目に渡る場合は主なものに分類し、どれにも当てはまらない場合⑤その他とすること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。
内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。

※「その他」の具体的な支援内容

当センター主催の研修会会場となった場所が、登録者の実習先がある場所と同一だったため、間接的に実習者の状況を聞き取った

IV 関係機関との連携等

(1) 連絡会議の開催回数

※ケース会議やコーディネート等、個別の支援に関するものは(2) ケース会議等の実施件数に計上する。

- ① センターが主催 7回
- ② 他機関が主催するものへの参加 31回

(2) ケース会議等の実施件数

※個別の障害者の支援につながる連携を図った件数であり、他機関自体に対する相談・支援に限らない。

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
146	876	613	1,636	3,271

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
443	21	27	1,145	1,636

平成31年度における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告

〈集計期間：平成31年4月1日～平成32年3月31日〉

- (1) 運営法人名 社会福祉法人 釧路のぞみ協会
- (2) センター名 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センター ふれん

I 追加調査

- (1) 新規登録者を除く、平成31年開始時点(平成31年4月1日現在)の登録状況 (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
在職中	50	13	188	42	96	67	401
求職中	1	0	18	1	3	1	23
その他	29	13	85	19	72	69	255
合計	80	26	291	62	171	137	679

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	42	5	1	19	67
求職中	0	0	0	1	1
その他	41	4	5	19	69
合計	83	9	6	39	137

- 注1) 平成31年度開始時点(平成31年4月1日)時点に支援対象として登録している障害者の数を計上する。
 注2) 平成31年度に新規登録した者(平成31年4月1日登録者)については「(2)平成31年度中に新規に登録した支援対象者の内訳」に計上すること。
 注3) 長期間支援を行っていない者、支援を必要としなくなった者、連絡がとれない者など、登録を取り消した者等は除く。
 注4) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、別添「年次報告の記入に当たっての留意点」を確認すること。

- (2) 平成31年度中に新規に登録した支援対象者数の内訳

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
在職中	9	3	5	1	10	16	40
求職中	1	0	6	0	0	0	7
その他	12	2	42	1	18	28	100
合計	22	5	53	2	28	44	147

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	7	0	0	9	16
求職中	0	0	0	0	0
その他	17	1	0	10	28
合計	24	1	0	19	44

- 注1) 平成31年度中(平成31年4月1日～平成32年3月31日)に新規に登録した障害者の数の内訳を計上する。
 注2) 年報(様式3-1)「I(2)平成31年度中に新規に登録した障害者の数」の合計と一致すること。
 注3) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、別添「年次報告等の記入に当たっての留意点」を確認すること。

II 年次報告の補足調査

(1) 様式3-1(3) ハについて

- 様式3(3)ハ①②について、実際に配置している者の職名・担当業務
 (地方自治体からの補助による場合は、地方自治体の独自事業名を記載)
 ※行が不足する場合には、行の追加は行わず、別シート「補足様式」にて登録すること。

「①法人内の他業務と兼務で配置している者」の職名・業務

職名	担当業務	兼務業務	事業名
就業支援員	就業支援業務	職場適応援助者	ジョブ・コーチ
センター長	センター統括	主任職場定着支援担当	就業・生活支援センター

注1) 「担当業務」には、兼務しているセンター業務を記載。
 「兼務業務」には、兼務している法人業務を記載。

「②センター業務専任で配置している者」の職名・業務

職名	担当業務	事業名
主任就業支援担当者	就業支援	就業・生活支援センター
就業支援員	就業支援	就業・生活支援センター
就業支援員	就業支援	就業・生活支援センター

注1) 「担当業務」には、担当しているセンター業務を記載。

(2) 様式3-1Ⅱ(8)について

- 「一般事業所への就職件数」のうち、ハローワークに求職申し込みを行っていた者の件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
一般 (30時間以上)	9	3	24	3	9	10	52
短時間① (20時間以上30時間未満)	3	2	2	0	6	2	13
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	3	0	3
合計	12	5	26	3	18	12	68

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	9	1	0	0	10
短時間① (20時間以上30時間未満)	2	0	0	0	2
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	0
合計	11	1	0	0	12

注1) 年報(様式3-1)「Ⅱ(8)①一般事業所への就職件数」のうち、ハローワークに求職申し込みを行っていた者の数を記入すること
 (ハローワークに求職申し込みを行っていれば、ハローワーク紹介、自己就職等就職の手段は選ばない。)